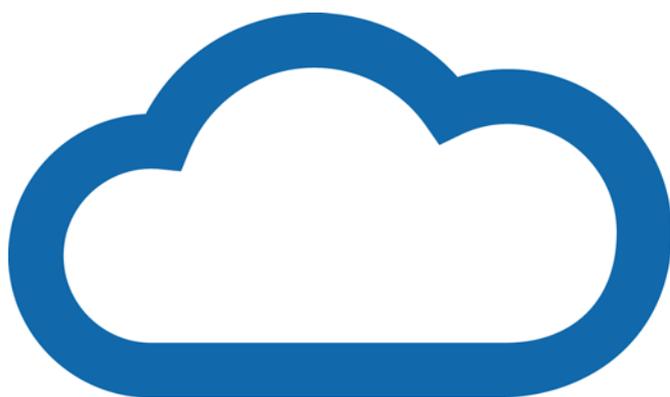




# WD Cloud™

ユーザーマニュアル



## WD サービスとサポート

万が一製品に問題が発生した場合は、返品される前に弊社までお問い合わせをお願いいたします。テクニカルサポートに関するご質問の多くは、弊社のナレッジベースまたはメールでのサポートサービス (<http://www.wdcloud.jp/support>) でお答えすることができます。回答が得られない場合、またご希望によっては、下記の電話番号にて弊社までお問い合わせください。

お客様の製品には、保証期間中、30日の無料電話サポートが含まれています。この30日間は弊社のテクニカルサポートに最初にお電話された日付からカウントされます。メールでのサポートは保証期間中無料でご利用いただけるほか、幅広いナレッジベースを年中無休でご利用いただけます。最新の機能やサービスをお届けできるよう、<http://register.wd.com>にて製品をオンライン登録してください。

## オンラインサポートへのアクセス

製品サポート Web サイト <http://www.wdcloud.jp/support> にアクセスし、次のトピックから選択してください。

- **ダウンロード** — お使いの WD 製品のドライバ、ソフトウェア、およびアップデートをダウンロードすることができます。
- **WD サポートポータル** — ニーズに合わせてカスタマイズされたサポート情報を利用するためにお使いの WD 製品を登録してください。
- **保証および RMA サービス** — 保証、製品交換 (RMA)、RMA ステータス、およびデータ復旧に関する情報を確認することができます。
- **ナレッジベース** — キーワード、フレーズ、または回答 ID で検索することができます
- **インストール** — WD 製品またはソフトウェアのインストールについてオンラインのインストールヘルプをご利用ください。
- **WD コミュニティ** — 他の WD ユーザーと情報交換することができます。
- **ラーニングセンター** — WD Cloud を最大限に活用するには、ここからスタートしましょう (<http://www.wdcloud.jp/learn>)。

## テクニカルサポートへのお問い合わせ

WD テクニカルサポートへのお問い合わせの際には、WD 製品のシリアル番号、システムハードウェア、およびシステムソフトウェアのバージョンをお尋ねいたしますので、あらかじめご準備ください。

<b>北米</b>		<b>ヨーロッパ (通話料無料) *</b>	00800 ASK4 WDEU (00800 27549338)
英語	800.ASK.4WDC (800.272.4932)	<b>ヨーロッパ</b>	+31 880062100
		<b>中東</b>	+31 880062100
スペイン語	800.832.4778	<b>アフリカ</b>	+31 880062100
<b>メキシコ</b>	001 8002754932	<b>ロシア</b>	8 10 8002 335 5011
<b>南米</b>		<b>アジア太平洋</b>	
チリ	1230 020 5871	オーストラリア	1800 429 861 / 0011 800 2275 4932
コロンビア	009 800-83247788	中国	800 820 6682 / 400 627 6682
ベネズエラ	+31.880062100	香港	3057 9031
ペルー	0800-54003	インド	1800 200 5789 / 1800 419 5591
ウルグアイ	00 413 598 3787	インドネシア	001 803 852 3993
アルゼンチン	0800 4440839	<b>日本</b>	0800 805 7293
ブラジル	0800 8917630	韓国	02 2120 3415
		マレーシア	1800 817 477
		ニュージーランド	0508 555 639 / 00800 2275 4932
		フィリピン	1800 1855 0277
		シンガポール	1800 608 6008
		台湾	0800 225 593
		タイ	00 1800 852 5913
		その他の国	+86 21 2603 7560

\* 無料通話は以下の国で利用可能です。オーストリア、ベルギー、チェコ共和国、デンマーク、フランス、ドイツ、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、スロバキア、スペイン、スウェーデン、スイス、英国

# コンテンツ

WD サービスとサポート.....	ii
<b>1 重要なユーザー情報 1</b>	
重要な安全上のご注意 .....	1
お客様の WD 製品情報の記録.....	2
<b>2 製品概要 3</b>	
パッケージ同梱物.....	3
要件.....	3
製品コンポーネント .....	4
設置前に .....	7
取り扱い上の注意.....	7
<b>3 使用開始 8</b>	
デバイスを使用する準備 .....	8
デバイスの設定.....	9
コンテンツへのアクセス .....	14
<b>4 ダッシュボードの概要 17</b>	
ダッシュボードの起動 .....	17
ダッシュボードホームページ.....	19
一般的な作業 .....	30
<b>5 ユーザーとグループの管理 31</b>	
ユーザーについて.....	31
グループについて.....	36
<b>6 共有の管理 39</b>	
共有について .....	39
<b>7 クラウドへのリモートアクセス 43</b>	
WD Cloud でクラウドアクセスを有効にする.....	43
ユーザー向けのクラウドアクセスの設定.....	43
iOS および Android モバイルアプリによるファイルのアクセス .....	44

<b>8</b>	<b>ファイルのバックアップと復元 47</b>	
	バックアップについて .....	47
	USB デバイスと USB バックアップの管理 .....	47
	リモートバックアップ .....	49
	内部バックアップ .....	51
	バックアップの詳細表示 .....	52
	バックアップジョブの修正 .....	52
	バックアップジョブの削除 .....	52
	カメラバックアップ .....	52
<b>9</b>	<b>WD Cloud でのアプリの管理 54</b>	
	アプリについて .....	54
	アプリの管理 .....	54
<b>10</b>	<b>ビデオ、写真、音楽の再生 / ストリーミング 56</b>	
	メディアサーバー .....	56
	メディアストレージ .....	58
	DLNA および iTunes を有効にする .....	58
	メディアプレーヤーを使用した WD Cloud デバイスのアクセス .....	60
	iTunes を使用した WD Cloud デバイスのアクセス .....	61
<b>11</b>	<b>設定 63</b>	
	全般 .....	63
	ネットワーク .....	70
	メディア .....	76
	ユーティリティ .....	77
	通知 .....	82
	ファームウェアの更新 .....	84
<b>12</b>	<b>規制情報 86</b>	
	規制遵守 .....	86
<b>13</b>	<b>付録 88</b>	
	付録 A : WD Cloud クイックユーザーガイド .....	88
	付録 B : セーフモードでのファームウェア更新の手順 .....	96
	付録 C : WD Cloud 操作アイコン .....	97
	付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前 .....	99
	付録 E : ユーザーインポートファイルの作成 .....	100
<b>14</b>	<b>索引 102</b>	

## 1

# 重要なユーザー情報

重要な安全上のご注意  
お客様のWD製品情報の記録

## 重要な安全上のご注意

本製品は、適切な使用方法のもとお客様に安全にお使いいただけるよう設計されています。不適切な使用法は、感電または火災につながることもあり、危険です。事故防止のため、安全に関する注意事項を十分にご理解いただき、本製品を正しくご使用ください。

- 本製品に示された警告および指示に従ってご使用ください。
- 本製品のお手入れを行う場合は、壁のコンセントから本製品のプラグを抜いてください。お手入れの際、液体クリーナーやエアゾルクリーナーを使用しないでください。清掃には固く絞った布をご使用ください。
- 本製品を水気の近くで使用しないでください。
- 不安定な場所に本製品を設置しないでください。製品が落下すると、重大な損傷をもたらす場合があります。
- 製品を落とさないでください。
- シャーシの前面や底面にあるスロットや開口部を塞がないでください。風通しの良い適切な場所をご利用いただくことにより、製品を過熱から製品を守り、正常に使用することができます。通気と冷却のため、ドライブは立ててご利用ください。
- ラベルに記載されている電源の種類をご使用ください。それ以外の電源は使用しないでください。電源の種類がわからない場合は、販売店または電力会社にお問い合わせください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。人が歩く場所に本製品やコードを配置しないでください。
- 本製品に延長コードを使用する場合、延長コードに接続した機器の合計定格電流が延長コードの定格電流を超えないことを確認してください。さらに、壁のコンセントに接続したすべての製品の合計定格電流がブレーカーの定格電流を超えないことを確認してください。
- 異物がシャーシスロットから本製品内部に入らないようにしてください。火災や感電の原因となる場合があります。
- 以下の場合、壁のコンセントから本製品のプラグを抜き、資格のあるサービス担当者に修理をご依頼ください。
  - 電源コードまたはプラグが損傷、切断または擦り切れた場合。
  - 製品に液体が入った場合。
  - 製品が雨または水にさらされた場合。
  - 操作指示に従っても製品が正常に動作しない場合。この場合、指示のされた操作以外を行わないでください。本製品が損傷し、製品を正常な状態に復元するためにさらに多くの操作が必要となる場合があります。
  - 製品が落下した、またはシャーシが損傷した場合。
  - 製品のパフォーマンスに著しい変化が見られる場合は、WD カスタマーサポート (<http://www.wdcloud.jp/support>) までご連絡ください。

## お客様の WD 製品情報の記録

以下の WD 製品情報をメモしておいてください。この情報は設定やテクニカルサポートの際に必要となります。WD 製品情報は、デバイスの底のラベルに記載されています。

- シリアル番号
- 製品型番
- 購入日
- Windows, WD Cloud のバージョン等

## 2

## 製品概要

パッケージ同梱物  
要件  
製品コンポーネント  
設置前に  
取り扱い上の注意

## パッケージ同梱物

- WD Cloud デバイス
- イーサネットケーブル
- AC アダプター
- クイックインストールガイド

本製品のオプションアクセサリについての詳細は、以下をご覧ください。

米国	<a href="http://www.shopwd.com">www.shopwd.com</a> または <a href="http://www.wdstore.com">www.wdstore.com</a>
カナダ	<a href="http://www.shopwd.ca">www.shopwd.ca</a> または <a href="http://www.wdstore.ca">www.wdstore.ca</a>
ヨーロッパ	<a href="http://www.shopwd.eu">www.shopwd.eu</a> または <a href="http://www.wdstore.eu">www.wdstore.eu</a>
その他の国	各地域の WD テクニカルサポートにお問い合わせください。テクニカルサポートの連絡先のリストは <a href="http://www.support.wdc.com">http://www.support.wdc.com</a> にアクセスして、ナレッジベースの回答 ID1048 でご覧いただけます

## 要件

## 対応 OS

## Windows®

- Windows 8.1
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista®

## Mac OS X®

- Yosemite (Mac OS 10.10)
- Maverick (Mac OS 10.9)
- Mountain Lion (Mac OS 10.8)
- Lion (Mac OS 10.7)

注：互換性は、コンピューターのハードウェア構成とオペレーティングシステムにより異なる場合があります。

## Web ブラウザー

- Internet Explorer 10.0 以降 (サポート対象の Windows コンピューターで稼働)
- Safari 6.0 以降 (サポート対象の Windows と Mac コンピューターで稼働)
- Firefox 29 以降 (サポート対象の Windows と Mac コンピューターで稼働)
- Google Chrome 31 以降 (サポート対象の Windows と Mac コンピューターで稼働)

## ローカルネットワーク

- ルーター/スイッチ（パフォーマンスを最大化するためにギガビットを推奨）

## インターネット

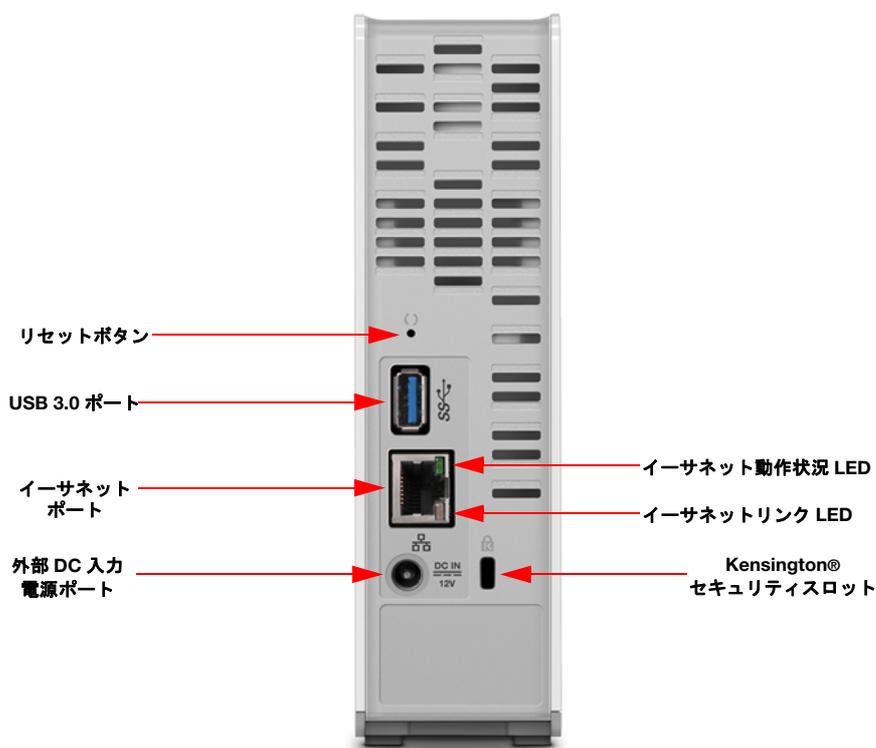
- 初期設定とソフトウェアのダウンロードには、さらにリモートアクセスとモバイルアプリにも、ブロードバンドのインターネット接続が必要になります。

## 製品コンポーネント

### 1 ベイ製品 前面外観



## 1 ベイ製品 背面外観



コンポーネント	アイコン	説明
イーサネットポート		デバイスをローカルネットワークに接続します。
USB 3.0 ポート		ストレージ増設用に USB ハードディスクドライブに接続します。
リセットボタン	( )	デバイスの管理者ユーザー名やパスワードなどの設定を復元します。
電源ポート		デバイスを AC アダプターや電源コンセントに接続します。
セキュリティケーブルスロット		デバイスの安全性のため、デバイスにはセキュリティスロットが装備されており、標準 Kensington セキュリティケーブルに対応しています。詳細については、 <a href="http://www.kensington.com/">http://www.kensington.com/</a> をご覧ください。

## LED

### 前面パネルの電源 LED

次の表で、前面パネルにある電源 LED の動作を説明します。

状態	色	様子	状態の説明
電源オフ (DC ジャック未接続)	消灯	該当なし	ドライブはオフです。
スタンバイ	青	パルス点滅	ドライブはスタンバイモードです。
起動中	青	点滅	デバイスが起動中か、ファームウェアの更新中です。
起動済み	青	点灯	デバイスには電源が入っています／準備完了しています。
要対応	赤	点滅	ネットワーク ケーブルが抜いてあるなど、対処が必要な状態。

### 背面パネルのイーサネット（ネットワーク）LED

次の表で、ネットワーク LED とアクティビティ LED を説明します。

注：イーサネットポートの右上部にはアクティビティ LED、右下部にはリンク LED があります。

状態	LED	様子	状態の説明
リンクダウン	リンク	オフ	ケーブルまたはデバイスがプラグに差し込まれてないか、リンクの他端が機能していません。
リンク可能 – 10/ 100 Mbps 接続	リンク	黄	ケーブルが接続され、リンクの両側で通信の確立に成功しています。10/100 Mbps のネットワーク接続です。
リンク可能 – 10/ 100/1000 Mbps 接続	リンク	緑	ケーブルが接続され、リンクの両側で通信の確立に成功しています。10/100/1000 Mbps のネットワーク接続です。
リンクアイドル状態	アクティビティ	点灯	アクティブな通信が行われていません。
リンクビジー	アクティビティ	緑 - 点滅	アクティブな通信が行われています。

## 設置前に

本製品をセットアップする前に、適切な場所を選択する必要があります。以下の条件を満たす場所に設置してください。

- 接地された電源の近く
- 清潔で、ほこりのない環境
- 振動のない安定した平面上
- 換気が良く、スロットおよび開口部が塞がれない場所
- 空調設備、ラジオ、テレビ受信機などの電気機器から離れた場所

## 取り扱い上の注意

本製品は精密機械です。開梱および設定を行う際には丁寧にお取扱ってください。乱暴な取り扱い、衝撃または振動はドライブに損傷を与える場合があります。外付けストレージ製品を開梱および取り付ける際には、次の注意事項を守ってください。

- デバイスを落としたり、衝撃を与えないでください。
- 電源がオンのときにはデバイスを動かさないでください。
- 本製品をポータブルデバイスとして使用しないでください。

## 3

## 使用開始

- デバイスを使用する準備
- デバイスの設定
- Web ブラウザーを使用して使用開始
- コンテンツへのアクセス

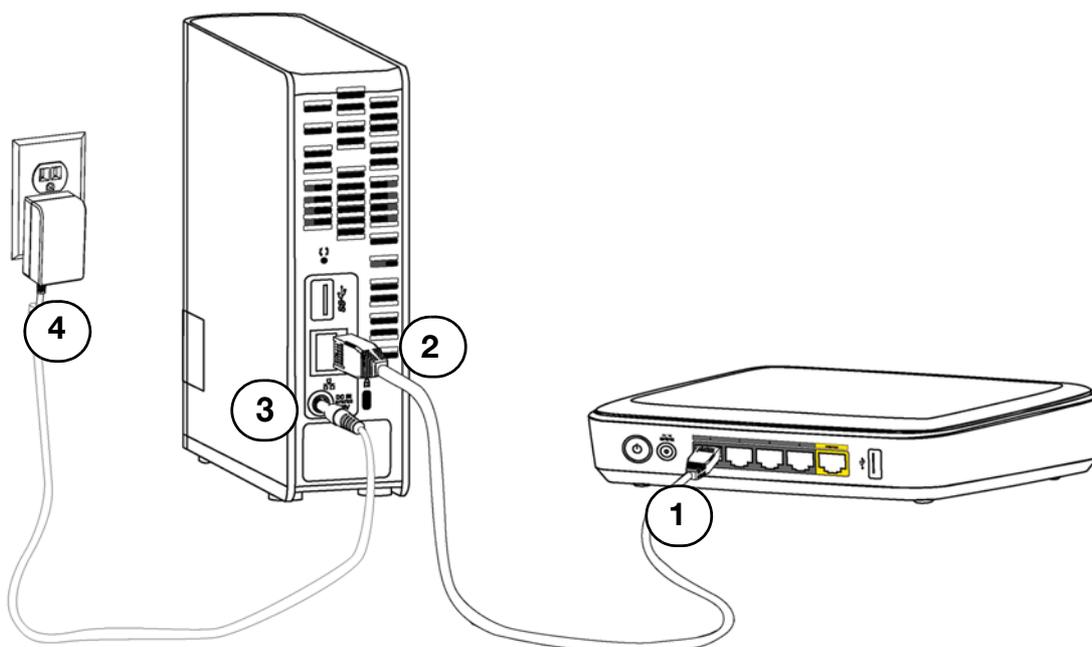
WD Cloud の設定は簡単です。製品を開梱し、ケーブル類を配線した後にデバイス前面の電源 LED が青く点灯するまでお待ちください。その後、次の URL にアクセスして、Web ブラウザから本製品を設定しましょう。<http://www.wdcloud.jp/setup>。

**注：** デバイスの安全なシャットダウン、およびデバイスの取り外しの詳細については、29 ページの「デバイスのログアウトとシャットダウン」を参照してください。

## デバイスを使用する準備

数ステップで本製品のセットアップが完了します。以下の手順に従ってデバイスを設定してください。

## デバイスを配線



WD Cloud をホームネットワークまたは小規模オフィスネットワークに接続するために、以下の手順を実行してください。

**重要：** 過熱を防ぐには、上記の図のように製品を設置し、デバイスの上面および底面のスロットおよび開口部を塞がないようにしてください。過熱時にデバイスは安全なシャットダウンを実行し、現在実行されているすべてのプロセスを中断します。このような状態が生じた場合、データ消失の可能性があります。

---

**重要：**最適なパフォーマンスを得るために、同梱のイーサネットケーブルを使用することをお勧めします。

---

1. 付属のイーサネットケーブルの一方の端子を製品本体背面のイーサネットポートに接続します。
2. イーサネットケーブルの他方の端子を、ルーターまたはネットワークスイッチポートに接続します。
3. 電源アダプターを、製品本体背面の電源ソケットに接続します。
4. 電源アダプターを電源コンセントのプラグに差し込みます。本製品の電源が自動的にオンになります。

---

**重要：**本製品の設定を行うには、WD Cloud デバイスの電源が完全にオンになるまで（約2分間）お待ちください。電源 LED の点滅が停止し、青に点灯すると、準備完了です。

---

5. デバイスの電源 LED が青に点灯したら、9 ページの「デバイスの設定」に進んでください。

## デバイスの設定

WD Cloud デバイスを設定するには、WD セットアップアシスタントを使用した使用開始に進みます。

デバイスにソフトウェアを設定しない場合でも、次のことを実行できます。

- 外付けハードディスクドライブとして WD Cloud デバイスを使用し、ファイルをドラッグ&ドロップする。（[「コンテンツへのアクセス」](#)（14 ページ）を参照してください。）
- WD Cloud デバイスのダッシュボードを使用してデバイスを設定する。（[17 ページの「ダッシュボードの概要」](#)を参照）。
- USB、リモート、内部、クラウド、カメラの各バックアップを使用して、ファイルをバックアップする（[「ファイルのバックアップと復元」](#)（47 ページ）を参照してください。）

## WD セットアップアシスタントを使用した使用開始

次の手順に従い、オンラインセットアップソフトウェアを実行し、デバイスを検出することで、使い始めることができます。

デバイスの接続後：

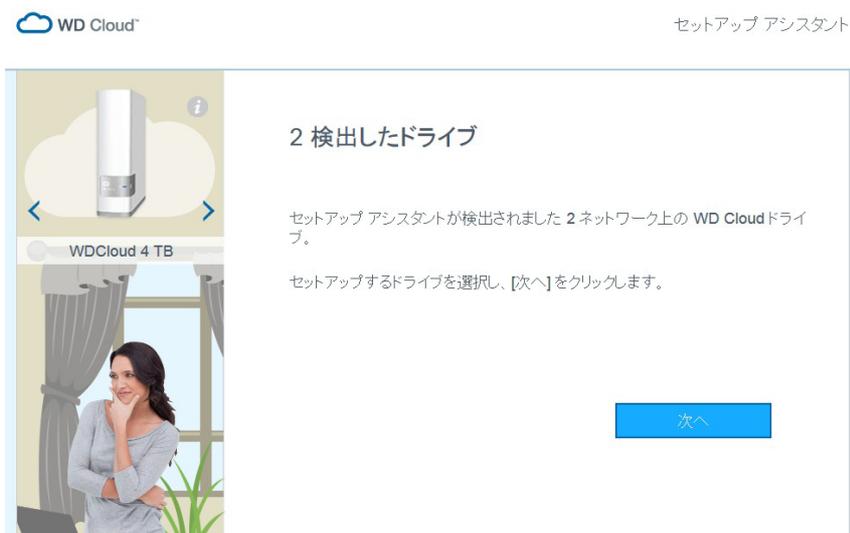
1. Web ブラウザーを開きます（ブラウザーの要件については、3 ページの「Web ブラウザー」を参照してください）。

2. アドレス欄に「<http://www.wdcloud.jp/setup>」と入力し、[Enter] キーを押すと、次のセットアップアシスタントの [ようこそ] ページが表示されます。



3. 契約内容を読み、**WD エンドユーザー使用許諾契約およびプライバシーポリシーに同意します**を選択して、**[セットアップを続行]** をクリックします。

セットアップアシスタントがデバイスを検索しはじめます。デバイスが見つかったら、以下の画面が表示されます。



4. WD Cloud デバイスを選択し、**[次へ]** をクリックします。

**クラウドをセットアップ**

新しい WDCloud.jp アカウントを作成 (または既存のアカウントに追加)  
このアカウントをご使用になると、簡単にご自宅外でクラウドに安全にアクセスできるようになります。

名

姓

メール アドレス

メール アドレスを確認

Western Digital でこのデバイスを登録

新しいアカウントの場合は、パスワードの作成方法が記載されたメールが送信されます。

次へ

5. 上記フォームに入力して、WD Cloud アカウントを設定するか、既存のアカウントに追加して、[次へ] をクリックします。

**ホーム アクセスのための追加のセキュリティを取得**

ホーム ネットワーク内から他者がドライブにアクセスできないようにするために、ユーザー名とパスワードを作成します。

ドライブのユーザー名

ドライブのパスワード

ドライブのパスワードを確認

このパスワードを忘れないでください。紛失したり忘れたりすると、再入力することはできません。

次へ

6. ダッシュボードにホームアクセスの追加セキュリティを設定する場合は、このオプション画面にパスワードを入力して、[次へ] をクリックします。そうでない場合は、[必要ありません] をクリックします。

注： このセキュリティが防ぐのは、ダッシュボードへの不正アクセスのみです。ホームネットワークに接続している他のユーザーは、デバイスのパブリックファイルにアクセスできます。

**もうじき完了です**

パーソナル クラウドの作成に成功しました。ただし、もう一つの作業が必要です。

送信したメールをお読みください saritawdc55@outlook.com.

指示にしたがってパスワードを作成し、クラウド セットアップを完了してください。

メールを受信しませんでした。

次へ

おめでとうございます！ WD Cloud のセットアップが完了しました。

7. クラウドのセットアップを完了するには、[手順5](#) で入力したメールアドレスに送信されるメールを参照して、リモートアクセス用のパスワードを作成してください。

## Web ブラウザーを使用して使用開始

次の手順に従い、Web ブラウザーを使用して本製品を設定します（ブラウザーの要件については 3 ページの「Web ブラウザー」を参照）。

1. ブラウザーを開いて、デバイス URL を入力し（デバイス URL のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照）、**Enter** キーを押します。

[言語を選択] 画面が表示されます。



2. ドロップダウンリストから、ユーザーインターフェースで使用する言語を選択します。
3. [WD エンドユーザー使用許諾契約] リンクをクリックし、エンドユーザー使用許諾契約を読みます。  
確認したら、[同意します] チェックボックスをクリックし、[続行] をクリックします。

WD ログイン画面が表示されます。



4. [ログイン] をクリックします。初期設定ではパスワードは設定されていないので、入力する必要はありません。

5. [パスワード] と [パスワードの確認] の両方のフィールドに、パスワードを入力します。
  - この時点でパスワードを作成しない場合は、両方のフィールドを空欄のままにします。
6. [次へ] をクリックします。[クラウド アクセスの設定] ページが表示されます。

7. [名]、[姓]、[メールアドレス] を入力して [保存] をクリックします。リモートアクセス機能のあるアカウントを作成した場合は、メールアドレスが必要です。
  - 追加のユーザーアカウントを入力する場合：
    - 新しいユーザーアカウントの [ユーザー名]、[名]、[姓]、[メールアドレス] を入力し、[保存] をクリックします。  
 注：メールアドレスを入力した場合は、ユーザーにメールアカウントを確認してもらいます。クラウドアクセスのパスワードを設定してアクティブにする手順を記載したメールが、ユーザーに届きます。
    - 上記の手順を、追加するすべてのユーザーアカウントに対して実行します。  
 注：WD Cloud アプリにより、WD Cloud デバイスに無料でリモートアクセスできます。アカウントを作成すると、モバイルデバイスを使用してインターネットアクセスでデバイスにアクセスできるようになり、WD Cloud デスクトップアプリからもアクセスできるようになります。

8. **【次へ】** をクリックします。次の画面が表示されます。



9. 画面には以下のオプションが表示されます。
- デバイスのファームウェアを自動的に更新するには、**【ファームウェアの自動アップデート】** トグルボタンをクリックします **|||**。
  - 製品改善プログラムに参加するには、**【製品改善プログラム】** トグルボタンをクリックします **|||**。
  - **【製品登録】** をするには、お名前とメールアドレスを対応するフィールドに入力します。
10. **【次へ】** をクリックして、次に進みます。



11. ソフトウェアや情報を追加する場合は、この画面でリンクを選択してください。
12. **【完了】** をクリックして、WD Cloud ダッシュボードを表示します。ダッシュボードの使用方法については、19 ページの「ダッシュボードホームページ」を参照してください。

## コンテンツへのアクセス

WD Cloud デバイスのパブリックフォルダーには、Shared Music、Shared Pictures、Shared Videos という名前のサブフォルダーがあります。これらのサブフォルダーに保存されているコンテンツは、ドラッグ & ドロップしたファイル、または PC や接続された USB ドライブからバックアップされたファイルです。

**注：** フォルダーには、あらゆる種類のファイルを保存できます。

WD Cloud デバイスを物理的に接続したら（8 ページの「デバイスを使用する準備」を参照）、次の手順に従い、デバイスのコンテンツにアクセスします。

オペレーティングシステム	手順
Windows 8/Windows 8.1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. [スタート] ページで、[コンピューター] と入力します。</li> <li>2. [コンピューター] をクリックします。</li> <li>3. 左側のペインで、[ネットワーク] をクリックします。</li> <li>4. WD Cloud デバイスをダブルクリックし（デバイス名のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照）、デバイスのパブリックフォルダーに移動します。</li> <li>5. パブリックフォルダーをダブルクリックします。Shared Music、Shared Pictures、Shared Videos のサブフォルダーが表示されます。これで、Windows エクスプローラーで、共有メディアフォルダーとの間でファイルをドラッグアンドドロップできます。</li> </ol>
Windows Vista/Windows 7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  をクリックするか、[スタート] &gt; [コンピューター] &gt; [ネットワーク] &gt; [WD Cloud デバイス] の順にクリックし（デバイス名のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照）、必要に応じて共有の資格情報を入力します。デバイスのパブリックとプライベートのフォルダー（共有）が表示されます。</li> <li>2. パブリックフォルダーをダブルクリックします。Shared Music、Shared Pictures、Shared Videos のサブフォルダーが表示されます。これで、Windows エクスプローラーで、共有メディアフォルダーとの間でファイルをドラッグアンドドロップできます。</li> </ol>
Mac OS X (Yosemite、Maverick、Mountain Lion、Lion)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Finder ウィンドウで、サイドバーの共有項目の下に表示された本製品をクリックします（デバイス名のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照）。</li> <li>2. 認証ページが表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力するか、[ゲスト] を選択して [接続] をクリックします。パブリック共有が表示されます。</li> <li>3. パブリックフォルダーをダブルクリックします。Shared Music、Shared Pictures、Shared Videos のサブフォルダーが表示されます。これで、Finder を使用してファイルを共有フォルダーにドラッグアンドドロップ操作できるようになります。</li> <li>4. デスクトップに共有ドライブアイコンを常に配置するには、エイリアスを作成します。以下の 2 つの方法があります。  <b>注：</b> エイリアスを作成する前に、[Finder] &gt; [環境設定] &gt; [一般] の順にクリックし、[接続されたサーバー] が選択されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- エイリアスを作成するアイテム（Shared Music など）をクリックし、マウスボタンを押したまま、同時に [Cmd] キーと [Option] キーを押したままにし、そのアイテムをエイリアスを作成する場所にドラッグします。元のアイテムは移動されずに、エイリアスが新しい場所に作成されます。</li> <li>- または -</li> <li>- エイリアスを作成するアイテム（Shared Music など）を右クリックし、[ファイル] &gt; [エイリアスを作成する] の順にクリックします。</li> </ul> </li> </ol>

## パブリックフォルダーのマッピング (Windows)

WD Cloud のパブリックフォルダーにドライブレターを割り当てて、今後すばやくアクセスできるようにするには、次の作業を行います。

1. Windows エクスプローラーの [ネットワーク] の下で、WD Cloud デバイスをクリックします (デバイス名のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照)。
2. パブリックフォルダーを右クリックし、メニューから [ネットワークドライブの割り当て] を選択します。
3. [ドライブ] ドロップダウンリストから、使用可能な文字を選択します。
4. [ログイン時に再接続] チェックボックスをオンにします。
5. [完了] をクリックします。これで、パブリックフォルダーがマッピングされました。

## 4

## ダッシュボードの概要

- ダッシュボードの起動
- ダッシュボードホームページ
- 情報アイコン
- ナビゲーションアイコン
- ホームページでのデバイスステータスの表示と更新の実行
- アラートの管理
- カスタマーサポートの利用
- デバイスのログアウトとシャットダウン
- 一般的な作業

デバイスの設定と管理を行うには、WD Cloud ダッシュボードを使用します。たとえば、ユーザーアカウントの設定、WD Cloud 上のファイルへのアクセス制限、ファイル保存のためのフォルダーの設定、リモートアクセスの有効化、必要に応じたデバイスのカスタマイズなどを行うことができます。

注：ダッシュボードを初めて開く場合は、12 ページの「Web ブラウザーを使用して使用開始」を参照してください。

## ダッシュボードの起動

以下のいずれかの方法を使って、ダッシュボードを起動します。

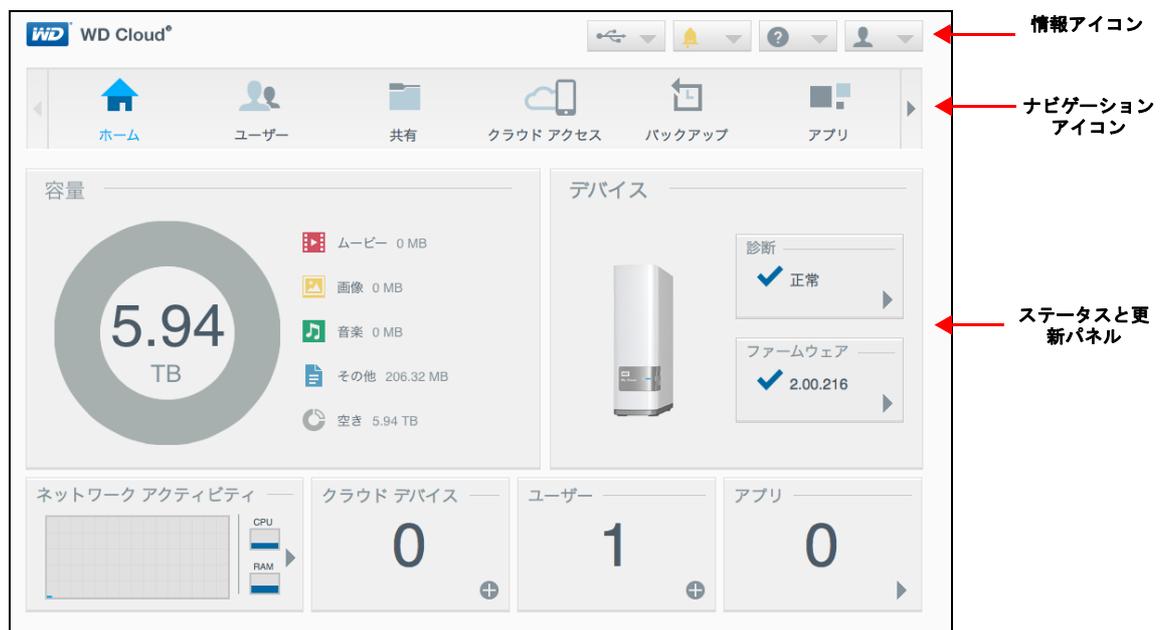
注：WD Quick View™ と WD SmartWare™ は便利な WD アプリで、ラーニングセンターダウンロードページ (<http://www.wdcloud.jp/learn>) からダウンロードできます。

起動元...	手順...
デスクトップアイコン (このアイコンは、セットアップソフトウェアを使用する際に、デスクトップにインストールされます)	ダッシュボードアイコンをダブルクリックして、WD Cloud ダッシュボードを起動します。
Web ブラウザーまたは Windows エクスプローラー	<p><b>デバイス名を使用する場合：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウザーのアドレスフィールドに、本製品のデバイス名を入力します (デバイス名のリストは 99 ページの「付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前」を参照)。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>http://&lt; デバイス名 &gt;</b> (Windows) (例 : <a href="http://WDCloud.jp">http://WDCloud.jp</a>)</li> <li>- <b>http://&lt; デバイス名 &gt;.local</b> (Mac) (例 : <a href="http://wdcloud.local">http://wdcloud.local</a>)</li> </ul> </li> <li>2. <b>進む</b>をクリックします。</li> </ol> <p><b>IP アドレスを使用する場合：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウザーのアドレスフィールドに、WD Cloud デバイスの IP アドレスを入力します。 <b>http://&lt;IP アドレス &gt;</b> IP アドレスは、ルーターのユーザーインターフェースで確認してください。</li> <li>2. <b>進む</b>をクリックします。</li> </ol>

起動元...	手順...
Windows 8/Windows 8.1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スタートページで、<b>コンピューター</b>と入力します。</li> <li>2. <b>コンピューター</b>をクリックします。</li> <li>3. 左側のペインで、<b>ネットワーク</b>をクリックします。</li> <li>4. 右側のパネルで、ストレージの下の WD Cloud デバイスに移動します。</li> <li>5. デバイスをダブルクリックするか右クリックして、結果メニューから<b>デバイスの Web ページの表示</b>を選択します。</li> </ol>
Windows 7/Windows Vista	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.  &gt; <b>コンピューター</b>の順にクリックします。</li> <li>2. 左側のパネルで、<b>ネットワーク</b>を選択します。</li> <li>3. 右側のパネルで、ストレージの下の WD Cloud デバイスに移動します。</li> <li>4. デバイスをダブルクリックするか右クリックして、結果メニューから<b>デバイスの Web ページの表示</b>を選択します。</li> </ol>
Mac OS X	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. <b>Safari アイコン</b>  &gt; <b>ブックマークアイコン</b>  &gt; <b>Bonjour</b> の順にクリックします。</li> <li>2. ネットワーク上の WD Cloud デバイスをダブルクリックします。</li> </ol>
モバイルデバイス	<p><b>iOS デバイスの場合：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウザーを開きます。</li> <li>2. アドレスバーに、「<b>http://&lt; デバイス名 &gt;.local</b>」を入力します。</li> </ol> <p><b>Android デバイスの場合：</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ブラウザーを開きます。</li> <li>2. アドレスバーに、「<b>http://&lt; デバイス名 &gt;</b>」を入力します。</li> </ol>
WD Quick View アイコン	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WD Quick View アイコンをクリックします。</li> <li>2. WD Cloud デバイスを選択し、<b>ダッシュボード</b>を選択します。</li> </ol>
WD SmartWare	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. WD SmartWare アプリで、WD Cloud デバイスを選択します。</li> <li>2. <b>設定タブ</b>をクリックします。メイン設定ページが表示されます。</li> <li>1. <b>ドライブの設定</b>をクリックします。</li> </ol>

## ダッシュボードホームページ

WD Cloud のダッシュボードには、右上に情報アイコン、ページ上部にナビゲーションアイコンが配置されています。また、デバイスの主な機能のステータスとアップデート設定のリンクも表示されます。



## 情報アイコン

ページ上部の情報アイコンで、次の項目にすばやくアクセスできます。

- WD Cloud に接続された USB デバイス
- デバイスアラート
- オンラインヘルプとサポート
- ユーザー情報

アイコン	名前	動作
	WD Cloud に接続された USB デバイス	クリックすると、本製品に接続された USB デバイスが表示されます。取り付けられてい
	アラート通知	クリックすると、新しいファームウェアとネットワークの問題に関する最近のアラートが表示されます。
	ヘルプ	クリックすると、WD Cloud 使用開始ウィザード、オンラインヘルプ、サポート、詳細情報にアクセスできます。
	ユーザー	クリックすると、現在 WD Cloud デバイスにログインしているユーザーの名前が表示されます。WD Cloud デバイスをシャットダウン、再起動、またはログアウトすることもできます。

## ナビゲーションアイコン

ナビゲーションアイコンでは、本製品のさまざまな機能と設定にアクセスできます。

アイコン	名前	動作
	ホーム	デバイスの主な機能の状態に関する簡単な概要と、これらの設定を変更するためのリンクが表示されます。
	ユーザーユーザ	ユーザーアカウントの作成、変更、削除を行います。個別の共有に対する無制限または制限付きアクセス権限をユーザーに与えます。
	共有	共有を作成、変更、削除します。特定のユーザーアカウントに、個別の共有に対する無制限または制限付きアクセス権限を付与します。また、アクセス権限を付与しないこともできます。
	クラウドアクセス	個別の共有に対するリモートクラウドアクセスを設定、変更、削除します。リモートアクセスの状況を監視します。
	バックアップ	以下のデバイスを保存先としてバックアップを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB ドライブ</li> <li>• ネットワーク上、またはネットワーク外に存在する別の WD Cloud デバイス。</li> <li>• 同一の WD Cloud 上の別の場所</li> <li>• カメラが接続された WD Cloud</li> </ul>
	アプリ	さまざまなアプリを追加または削除して、デバイスをさらに効果的に使用できるようにします。
	設定	WD Cloud に対して、次のような高度な設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般的なデバイス設定</li> <li>• ネットワーク構成</li> <li>• メディアオプション</li> <li>• デバイスユーティリティタスク</li> <li>• 通知設定</li> <li>• ファームウェア更新設定</li> </ul>

## ホームページでのデバイスステータスの表示と更新の実行

ホームページの本体では、デバイスのステータスとその機能を表示し、必要性が最も高い作業のショートカットを提示します。



### 容量

容量パネルには、WD Cloud デバイスの空き容量と、ストレージの割り当て状況が表示されます。

**注：** ストレージ割り当て情報は、クラウドサービスオプションがオンの場合のみ表示されます。クラウドサービスを有効にする手順は、66 ページの「クラウドアクセス」を参照してください。



## デバイス

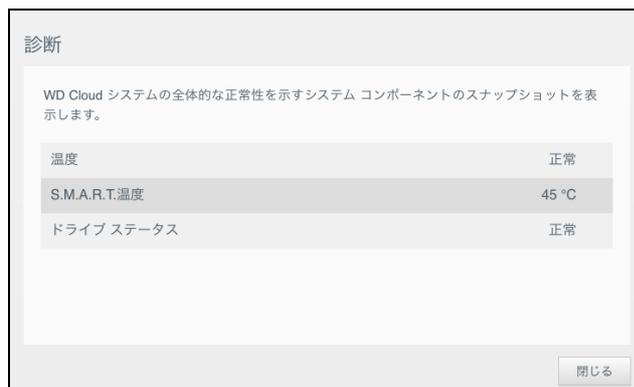
デバイスセクションでは、システム全般の健全性を表示し、ファームウェアの現在のバージョンを示して、ファームウェアのアップデートが入手できる時期を通知します。



## 診断情報

診断セクションでは、システムコンポーネントのスナップショットを表示し、WD Cloud デバイス全般の稼働状態を示します。

1. システムコンポーネントのステータスの詳細を確認するには、診断フィールドの矢印をクリックします。
2. ホームページに戻るには、閉じるをクリックします。



## ファームウェア

ファームウェアセクションには、WD Cloud に現在読み込まれているファームウェアのバージョンが表示されます。緑のチェックマークは、ファームウェアが最新であることを示しています。

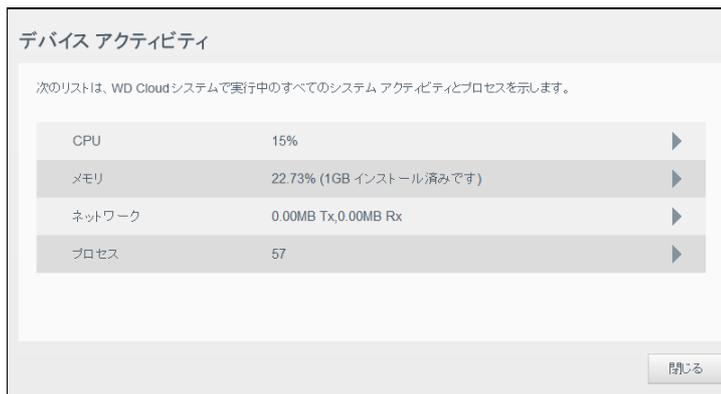
1. ファームウェアの最新バージョンが入手できるかどうかを確認するには、ファームウェアの右側にある矢印をクリックして、ファームウェアが利用可能かどうかを表示します。
2. アップデートが入手できる場合、インストールと再起動をクリックして、デバイスを更新します。
3. ホームページに戻るには、OK またはキャンセルをクリックします。

## ネットワークアクティビティ

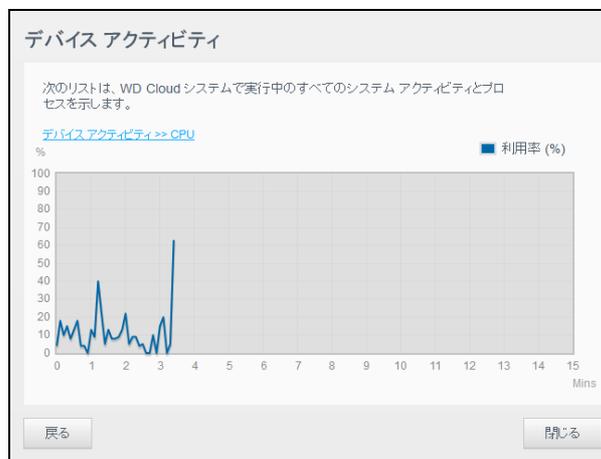
ネットワークアクティビティパネルでは、WD Cloud 上で実行中のシステムのアクティビティとプロセスを表示します。ネットワーク、CPU、RAM のアクティビティの概要を確認できます。



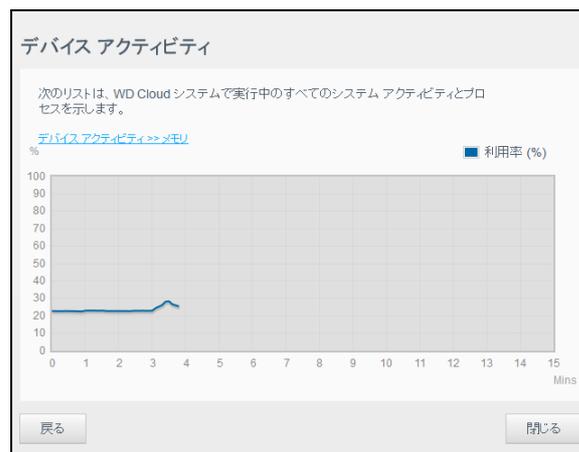
WD Cloud 上で実行中のデバイスのアクティビティとプロセスのリストをすべて表示するには、ネットワークアクティビティ領域の矢印をクリックします。



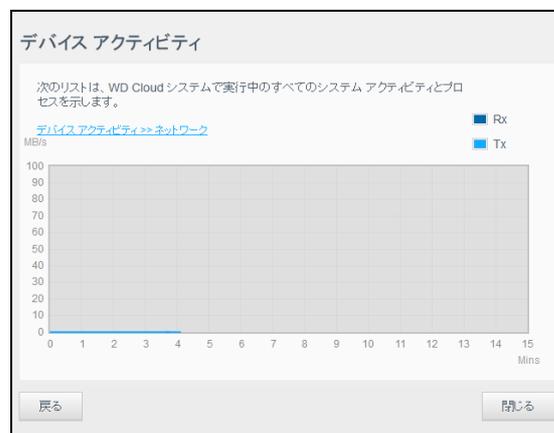
- CPU** : 右矢印をクリックすると、CPU アクティビティが表示されます。デバイスアクティビティペインに戻るには、**戻る**をクリックします。ホームページに戻るには、**閉じる**をクリックします。



- メモリ**：右矢印をクリックすると、メモリアクティビティが表示されます。デバイスアクティビティペインに戻るには、**戻る**をクリックします。ホームページに戻るには、**閉じる**をクリックします。



- ネットワーク**：右矢印をクリックすると、ネットワークアクティビティが表示されます。デバイスアクティビティペインに戻るには、**戻る**をクリックします。ホームページに戻るには、**閉じる**をクリックします。



- プロセス**：右矢印をクリックすると、アクティブなプロセス、CPU 容量、各プロセスに対するメモリ使用量などのプロセス情報を表示します。デバイスアクティビティペインに戻るには、**戻る**をクリックします。ホームページに戻るには、**閉じる**をクリックします。

デバイス アクティビティ

次のリストは、WD Cloud システムで実行中のすべてのシステム アクティビティとプロセスを示します。

[デバイスアクティビティ>>プロセス](#)

プロセス	CPU%	メモリ使用状況
upnp_nas_device	0.0	0.8
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.4
httpd	0.0	4.2

戻る 閉じる

## クラウドデバイス

クラウドデバイスパネルでは、現在 WD Cloud にリモートでアクセスしているクラウドデバイスとスマートデバイスの数を表示します。



1. ユーザーにクラウドアクセスを追加するには、パネルの右下にあるプラス記号 (+) をクリックします。



2. ユーザーを選択し、**コードの取得**をクリックして認証コードを生成します。
3. ページに表示された手順に従い、タブレットやモバイルデバイスを WD Cloud に登録します。

## ユーザー

ユーザーパネルでは、現在 WD Cloud を使用しているユーザー数を表示します。



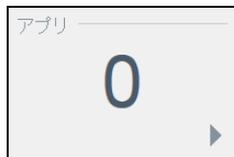
1. ユーザーを追加するには、パネルの右下にあるプラス (+) 記号をクリックします。

**注：** ユーザーの追加画面でメールアドレスを入力すると、新しいクラウドアクセスアカウントが作成されます。作成が完了すると、クラウドアクセスのパスワードを設定してアクティブにする手順を記載したメールが、新しいユーザーに届きます。

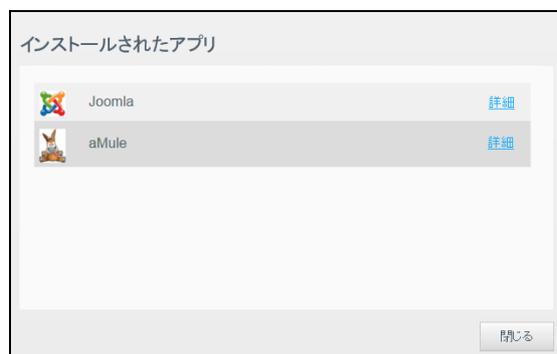
2. 必要な情報を入力し、**保存**をクリックします。

## アプリ

アプリパネルでは、現在 WD Cloud にインストールされているアプリを表示します。



1. インストールされているアプリを表示するには、パネルの右下にある矢印をクリックします。



**注：** アプリをインストールするには、54 ページの「WD Cloud でのアプリの管理」を参照してください。

2. アプリの詳細を表示するには、アプリの横にある**詳細**をクリックします。インストールされたアプリ画面に戻るには、**戻る**をクリックします。
3. ホームページに戻るには、**閉じる**をクリックします。

## アラートの管理

アラートでは、WD Cloud の状況についての関連情報を含むシステムメッセージを表示します。ダッシュボードの右上に 3 種類のアラートが表示されます。

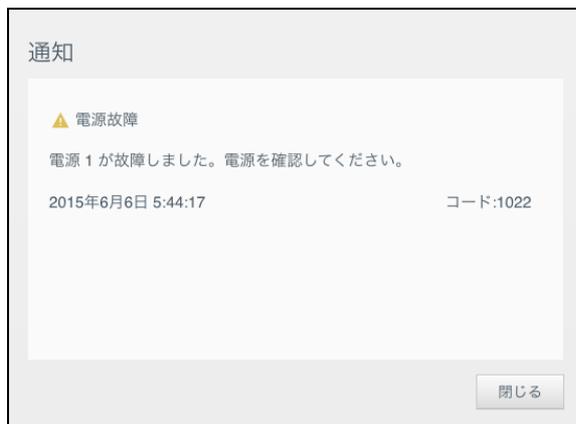
アラートアイコン	アラートのタイプ	説明
	情報	情報アラートでは、重要性が低い最新のシステム情報が得られます。例：再起動が必要
	警告	警告では、今後問題が発生する危険性がある状況をお知らせします。例：ネットワーク遮断
	緊急	このアラートでは、システム障害などのエラーや問題をお知らせします。例：ドライブの過熱

## アラートの詳細表示

1. 画面の右上にあるアラートアイコンをクリックします。
2. アラートリストで、表示するアラートの横にある矢印をクリックするか、**すべて表示**をクリックして、すべてのアラートの詳細を確認します。



- アラートの詳細を表示するには、アラートの横にある矢印をクリックします。



- アラートメッセージを閉じるには、**閉じる**をクリックします。

## アラートの却下

1. 画面の右上にあるアラートアイコンをクリックします。
2. 却下するアラートの横にある削除アイコンを選択します。
3. アラートをすべて却下するには、**すべて表示**をクリックし、**すべて却下**をクリックします。

## カスタマーサポートの利用

サポートページを開くには、次の作業を行います。

1. 各ページにあるヘルプアイコンをクリックし、ヘルプメニューを表示します。
2. サポートをクリックします。次のページが表示されます。

サポート

自動サポートの要求

[自動カスタマーサポート]を選択すると、包括的な診断レポートが生成され、サポートに添付されます。これには、デバイスのシリアル番号、MACアドレス、およびその他のステータス情報が含まれています。サポート要求は専門技術者チームに配信され、できる限り迅速かつ効率的にサポートを実施します。

サポート要求レポートを添付するには、[デバイスの診断レポートを添付してサポートを要求] オプションを選択し、[サポートの要求]をクリックします。

デバイス診断レポートを添付せずにサポート要求を送信するには、標準のサポート ページから要求を送信してください。

デバイスの診断レポートを添付してサポートを要求

サポートを要求 [プライバシーポリシー](#)

---

システムレポートを作成して保存

システムレポートを作成し、ドライブに保存して、ネットワークの問題を特定して解決します。

---

製品改善プログラム

このプログラムに参加しても、デバイスのパフォーマンスには影響しません。当社の製品の改善を支援するものです。デバイスは定期的にシリアル番号と基本デバイス情報を WD に送信します。

- 当社の製品の今後の更新に役立てさせていただきます。
- 当社のサポート チームが、より効果的にお客様を支援できるようになります。
- いつでも参加を中止することができます。

製品改善プログラムへの参加  オン

---

サポートリソース

[製品ドキュメント](#)  
[FAQ](#)  
[お問い合わせ](#)  
[お問い合わせ先](#)

OK

WD Cloud で何らかの問題が発生している場合、WD テクニカルサポートでは、解決策や最善策を判断する際に、デバイスに関する情報が必要になります。デバイスの情報を取得し、サポートを依頼するには、次の2つの方法があります。

- システムレポートを実行して WD に自動的に送信します。
- システムレポートを手動で作成して WD に送信します。

サポートページで WD 製品改善プログラムに参加すると、WD 製品の改善に役立ちます。

### 自動サポートのリクエスト

自動サポートのリクエストで、次の作業を行います。

1. [プライバシーポリシーリンク](#)をクリックして、WD のプライバシーポリシーを確認します。
2. [デバイスの診断レポートを添付](#)をクリックしてサポートをリクエストします。
3. [サポートのリクエストボタン](#)をクリックします。

## システムレポートの作成と保存

1. システムレポートの作成・保存セクションで、**作成・保存**をクリックします。ファイルがコンピューターに保存されます。
2. 必要に応じて、レポートを WD テクニカルサポートにメールで送信します。

## 製品改善プログラム

WD の製品改善プログラムに参加すると、WD 製品の改善に役立ちます。次の手順に従い、製品改善プログラムに参加します。

1. 製品改善プログラム領域で、画面の情報を確認します。
2. 製品改善プログラムをオンするには、トグルボタンをクリックします。

## その他のサポートの利用

サポートリソースセクションには、さらに別のサポートへのリンクがあります。

- 最新のユーザーマニュアルを取得するには、**製品ドキュメントリンク**をクリックします。
- よくある質問に対する回答や手順を表示するには、**FAQ** リンクをクリックします。
- WD Cloud デバイスについて、他のユーザーと意見を交換するには、**フォーラム** リンクをクリックします。
- WD の電話番号やその他の連絡先情報を表示するには、**お問い合わせリンク**をクリックします。

## デバイスのログアウトとシャットダウン

### デバイスのシャットダウン

次の手順に従い、WD Cloud デバイスを安全にシャットダウンします。

1. 画面の右上にあるユーザーアイコンをクリックします。
2. **シャットダウン**をクリックします。
3. 確認メッセージを確認したら、**OK** をクリックします。WD Cloud が安全にシャットダウンされます。

### デバイスの再起動

1. 画面の右上にあるユーザーアイコンをクリックします。
2. **再起動**をクリックします。
3. 確認メッセージを確認したら、**OK** をクリックします。WD Cloud が安全に再起動します。

### デバイスのログオフ

1. 画面の右上にあるユーザーアイコンをクリックします。
2. **ログアウト**をクリックします。WD Cloud デバイスからログアウトします。

## 一般的な作業

以降の章では、WD Cloud の設定と使用に関する手順を段階的に説明しています。次の表は、一般的な作業とその手順を説明する参照先です。

作業	参照
デバイスをネットワーク上に設定する	9 ページ
メディアサーバーを使用する	56 ページ
DLNA（デジタルリビングネットワークアライアンス）と iTunes を有効にする	58 ページ
WD Cloud をシャットダウンまたは再起動する	29 および 80 ページ
ファームウェアを更新する	84 ページ
デバイスからコンテンツにアクセスする（パブリック共有とプライベート共有）	14 ページ
ユーザーを追加する	31 ページ
共有を作成する	39 ページ
コンテンツをデバイスにアップロードおよびバックアップする	47 ページ
デバイスをバックアップする	47 ページ
共有する複数のユーザーに対してリモートアクセスを有効または無効にする	43 ページ
WD モバイルアプリをダウンロードする	44 ページ

## 5

# ユーザーとグループの管理

ユーザーについて  
グループについて

## ユーザーについて

管理者（通常は本製品の所有者）は、本製品設定の責任者です。本製品の所有者には、管理者権限を持つ特別なユーザーアカウント（admin）が与えられます。管理者権限があると、ニーズに合わせてデバイスを設定し、他のユーザーをパーソナルクラウドに追加することができます。また、ユーザーがドライブにアクセスできる対象を細かく設定することが可能です。

デフォルトでは、管理者のユーザー名にパスワードはありません。ただし、パスワードはいつでも設定可能です（34 ページの「ユーザーパスワードの更新」を参照）。

**注：** 管理者のログイン ID を使用して Web ブラウザーアプリにログインできるのは、一度に 1 人のみです。このため、本製品を使用していない場合は、Web ブラウザーアプリから必ずログアウトしてください。これにより、管理者のログイン ID を使用することが認定された他のユーザーが Web ブラウザーアプリにアクセスすることができます。一定時間経過後に自動的にアプリケーションからログアウトするには、67 ページの「省電力」を参照してください。

ユーザー画面では、現在のユーザーのリストを表示します。管理者は、ユーザーの詳細情報を表示し、ユーザーを新規に作成し、グループを作成し、ユーザーやグループに既存の共有へのアクセス権限を与えることができます。

## ユーザーの表示

1. ナビゲーションバーでユーザーをクリックし、ユーザーの設定画面を表示します。



2. ユーザーの詳細情報を表示するには、左側のペインにあるユーザー名をクリックします。ユーザーのプロファイルと共有アクセス情報が表示されます。ユーザーが共有に対して所有できる権限は、読み取りのみ、読み取り / 書き込み、またはアクセス不可のいずれかです。共有の詳細については、39 ページの「共有について」を参照してください。

**注：** アクセス許可が必要ない共有アクセスセクションの共有はグレー表示になっています。共有をプライベートに設定したら、リストに共有が表示され、編集可能になります（40 ページの「共有設定の編集」を参照）。

## 単一ユーザーの追加

管理者はユーザーアカウントを追加し、ユーザーがアクセスできるフォルダーへのアクセス権限を設定します。次の手順に従い、単一ユーザーアカウントを追加します。

注： デバイスには、最大 512 ユーザーを追加可能です。

1. ユーザーを追加するには、画面の左下にある**ユーザーの追加**アイコンをクリックします。
2. 画面にユーザー情報を入力し、**保存**をクリックします。

新しいユーザーアカウントが作成され、画面に表示されます。

- ユーザーの追加画面でメールアドレスを入力すると、新しいクラウドアクセスアカウントが作成されます。作成が完了すると、クラウドアクセスのパスワードを設定してアクティブにする手順を記載したメールが、新しいユーザーに届きます。

## 複数ユーザーの追加

次の手順に従い、複数ユーザーアカウントを追加します。

1. 複数ユーザーを追加するには、画面の左下側にある**複数ユーザーの追加**をクリックします。



2. オプションを選択し、**次へ**をクリックします。
  - **複数ユーザーの作成**：ユーザーを手動で入力できます。「**複数ユーザーの作成**」(33 ページ)を参照してください。

- **ユーザーのインポート**：ユーザーのリストをデバイスにインポートできます。33 ページの「**複数ユーザーのインポート**」に進みます。



### 複数ユーザーの作成

1. 複数ユーザーの作成画面に次の情報を入力し、続いて**次へ**をクリックします。
  - **ユーザー名の敬称**：ユーザー名の敬称を入力します。これは、ユーザー名を作成する際にアカウント接頭語に追加されます（例：HR）。
  - **アカウント接頭語**：番号アカウントの接頭語を入力します。これは、ユーザー名を作成する際にユーザー名の敬称に追加されます（例：143）。
  - **ユーザー数**：作成するユーザーアカウント数を入力します。追加できる最大数が右側に表示されます。
  - **パスワード**：ユーザーアカウントのパスワードを入力します。
  - **パスワードの確認**：ユーザーアカウントのパスワードを確認します。
  - **重複するアカウントの上書き（オプション）**：デバイスで既存の重複アカウントを上書きするには、このチェックボックスを選択します。
2. 新しいユーザーにグループを割り当てるには、グループの横にあるチェックボックスをクリックし、**次へ**をクリックします。
3. クォータ量を入力するか、無制限の領域の場合は値を空欄のままにしておき、**次へ**をクリックします（「ユーザークォータ」（34 ページ）を参照してください。）
4. 新しいユーザーアカウントが画面に表示されます。**保存**をクリックして、これらをデバイスに保存します。

### 複数ユーザーのインポート

1. **ダウンロード**をクリックして、ユーザーインポートファイルを設定する際に必要なフォーマットを特定する .txt ファイルをダウンロードします。
2. インポートファイルを作成し、保存します。ユーザーインポートファイルを作成してフォーマットする方法については、100 ページの「付録 E：ユーザーインポートファイルの作成」を参照してください。
3. **ユーザーリストのインポート**をクリックし、作成したインポートファイルを選択します。
4. **次へ**をクリックします。
5. 新しいユーザーアカウントにアクセス権限を与えるグループを選択し、**次へ**をクリックします。
6. **保存**をクリックします。新しいユーザーアカウントがパーソナルクラウドに保存されます。

### ユーザー設定の編集

1. ユーザーの設定画面で、情報編集の対象とするユーザーを選択します。ユーザープロフィールパネルと共有アクセスパネルが表示されます。
2. 必要に応じて、必須とオプションの設定を修正します。
3. 共有アクセス領域で、プライベート共有のアクセスレベルを割り当てます（プライベート共有の作成に関する詳細は、41 ページの「プライベート共有への変換」を参照してください）。

## ユーザーパスワードの更新

ユーザーの詳細情報を表示しているときに、管理者はユーザーのパスワードを追加または変更することができます（デフォルト設定ではパスワードなし）。

次の手順に従い、ユーザーパスワードを更新します。

1. ユーザーの設定画面で、左側のペインのリストからユーザーを選択します。
2. これまでにパスワードが作成されていない場合、ユーザープロファイル領域でトグルボタンをクリックし、手順 4 に進みます。
3. 既存のパスワードを編集する場合は、トグルボタンの右側にある**設定**をクリックします。
4. 新しいパスワードとパスワードの確認の両方のフィールドに、新しいパスワードを入力します。

5. **保存**をクリックします。

## ユーザーのグループへの割り当て

次の手順に従い、ユーザーグループにユーザーアカウントを割り当てます。ユーザーグループについては、36 ページの「グループについて」を参照してください。

1. ユーザーの設定画面で、左側のペインからユーザーを選択します。
2. グループメンバーシップフィールドで、**設定**をクリックします。
3. ユーザーを参加させるグループの横にあるチェックボックスを選択し、**保存**をクリックします。

## ユーザークォータ

クォータを設定することで、WD Cloud 上で各ユーザーに割り当てるディスク容量を指定することが可能です。ここでは、ユーザークォータを割り当てるためのルールと、クォータをユーザーアカウントに割り当てる手順について説明します。

### クォータルール

ユーザークォータを割り当てることで、ユーザーやグループに配分したディスク領域をうまくコントロールできるようになります。割り当ての優先順を定める様々な規則があります。

**注：** ユーザーとグループのアクセス権限が異なる場合、最も制限の高いアクセス権限が優先されます。

- ユーザーの割り当ては、グループの割り当てと同一またはそれ未満に設定する必要があります（たとえば、グループの割り当てが 20GB の場合にユーザーの割り当てを 30GB に設定しようとする、ユーザーの割り当てをグループの割り当てと同一またはそれ未満にするように指示するメッセージが表示されます）。
- ユーザーの割り当てが設定されていない場合は、グループの割り当てがユーザーに適用されます。
- ユーザーがグループに追加される前にユーザーの割り当てが設定されていた場合に、グループに割り当てられた場合：
  - ユーザークォータがグループクォータより大きい場合、各ユーザーのクォータはグループクォータの容量に自動的に削減されます。
  - ユーザーの割り当てがグループの割り当てと同一またはそれ未満の場合は、個別のユーザーの割り当ては変更されません。

### ユーザークォータの割り当て

1. ユーザーの設定画面で、左側のペインからユーザーを選択します。
2. クォータフィールドで、**設定**をクリックします。
3. WD Cloud デバイスでユーザーに割り当てる容量を入力します。
  - 無制限の容量を割り当てたい場合は、割り当てる容量のフィールドを空白にします。

4. **保存**をクリックします。

### ユーザーの削除

次の手順に従い、本製品からユーザーを削除します。

**注：** 管理者アカウントは削除できません。

1. ユーザーの設定画面で、左側のペインから削除するユーザーを選択します。
2. **ユーザーの削除**アイコンをクリックします。
3. 確認メッセージで、**OK** をクリックします。ユーザーアカウントはデバイスから削除され、これ以降ユーザーアカウントリストには表示されません。

## グループについて

グループにより、複数のユーザーを管理しやすくなります。グループアカウントに割り当てる権限により、グループで行われる活動が確定します。

### グループの表示

1. ナビゲーションバーでユーザーをクリックし、ユーザーの設定画面を表示します。
2. **グループ**をクリックします。



3. グループの詳細情報を表示するには、左側のペインにあるグループ名をクリックします。グループのプロファイル情報が表示されます。

### グループの追加

1. グループを追加するには、グループの設定画面の左下にある**グループの追加**アイコンをクリックします。
2. グループ名を入力します。
3. 新しいグループに追加するユーザーの横にあるチェックボックスをクリックし、**保存**をクリックします。

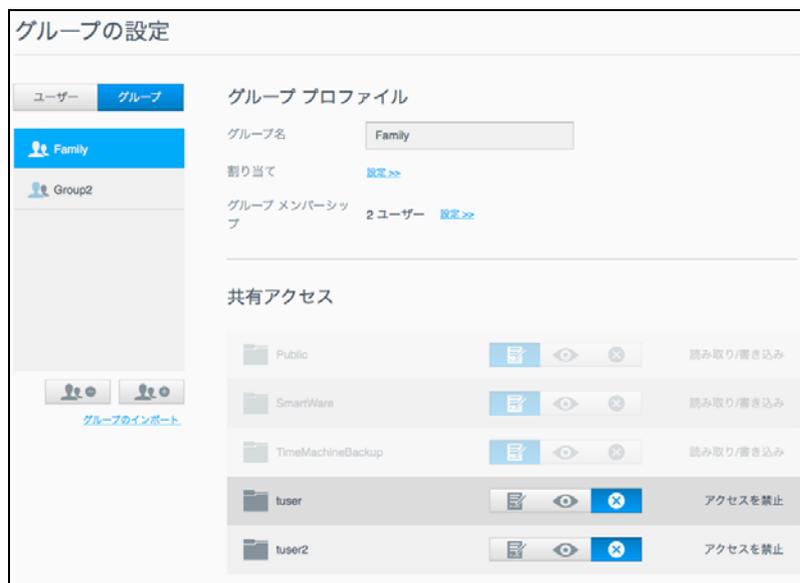
### グループ設定の編集

1. グループの設定画面で、情報編集の対象とするグループを選択します。グループプロフィールパネルと共有アクセスパネルが表示されます。
2. 必要に応じて、必須とオプションの設定を修正します。共有へのグループのアクセス権限を更新するには、37 ページの「共有アクセスのグループへの割り当て」を参照してください。

## 共有アクセスのグループへの割り当て

グループアカウントが作成されたら、次の手順に従い、本製品上のさまざまな共有へのアクセス権限を割り当てることができます。

1. グループの設定画面で、共有を割り当てるグループを選択します。



**注：**共有は初めに共有画面でプライベートに設定しておく必要があります。すべてのパブリック共有は灰色で表示されます。詳細については、39 ページの「共有について」を参照してください。

2. 共有アクセス領域で、オプションとして次のいずれかのアイコンをクリックし、共有へのアクセスの種類を指定します。
  - **読み取り / 書き込み：**選択した共有への読み取り / 書き込みのアクセス権限をグループアカウントに与えるには、このオプションを選択します。グループメンバーはその共有を表示し、更新できます。
  - **読み取り専用：**選択した共有への読み取り専用のアクセス権限をグループアカウントに与えるには、このオプションを選択します。グループメンバーはその共有を表示できますが、更新できません。
  - **アクセスなし：**グループには、この共有へのアクセス権限はありません。選択した共有アクセス権限で、グループが更新されます。

## クォータのグループへの割り当て

次の手順に従い、グループにクォータを割り当てます。クォータにより、本製品でユーザーに割り当てる容量を指定します。(クォータについては、34 ページの「ユーザークォータ」を参照)。

1. グループの設定画面で、左側のペインからグループを選択します。
2. クォータフィールドで、設定をクリックします。
3. 本製品でグループに割り当てる容量を入力します。無制限の領域を割り当てるには、割り当てフィールドを空欄のままにしておきます。
4. 保存をクリックします。

## グループの削除

次の手順に従い、本製品からグループを削除します。

**注：** ユーザーが属するグループが削除されると、ユーザーアカウントは個別の設定に戻ります。

1. グループの設定画面で、左側のペインから削除するグループを選択します。
2. **グループの削除**アイコンをクリックします。
3. 確認メッセージで、**OK** をクリックします。グループアカウントはデバイスから削除され、これ以降グループアカウントリストには表示されません。

## 6

## 共有の管理

### 共有について

### 共有について

共有は、本製品上にある、ファイルを格納するための領域です（フォルダーやディレクトリに似ています）。

共有は、すべてのユーザーがコンテンツにアクセスできるパブリックか、選択したユーザーにアクセスを制限するプライベートのいずれかです。ナビゲーションバーの[共有]アイコンには、本製品上の共有リストが表示され、管理者は共有とユーザーアクセスを管理することができます。

### 共有リストの表示

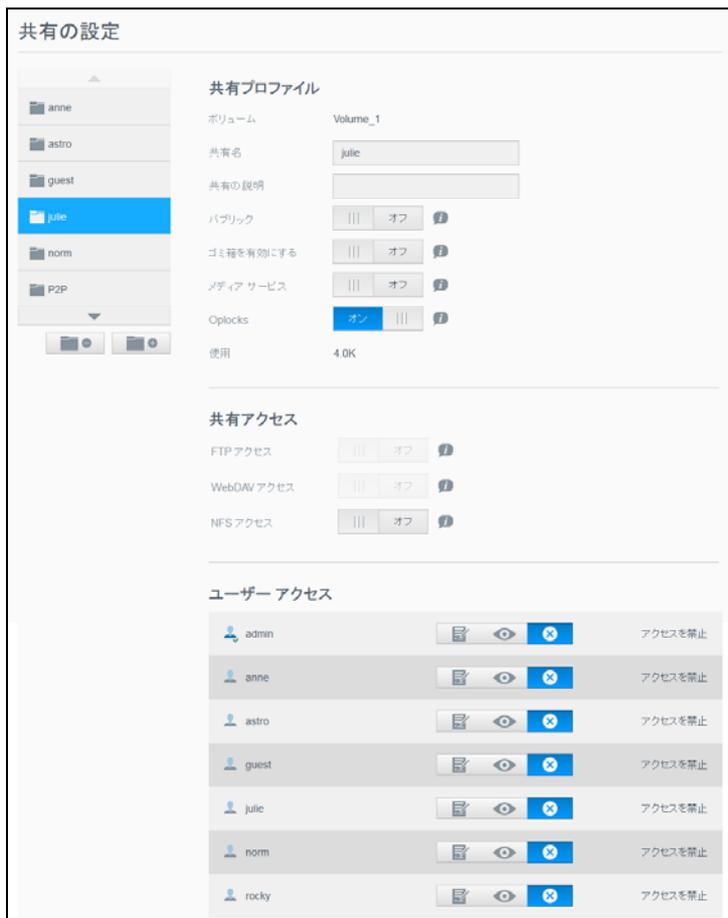
ナビゲーションバーの[共有]アイコンをクリックして、本製品上の共有リストを表示します。共有名ごとに、説明、メディアサービス、パブリックアクセスのステータスが表示されます。

次の手順に従い、共有リストを表示します。

1. ナビゲーションバーで、[共有] をクリックして、[共有について] ページを表示します。



- 共有をクリックして、そのプロファイルとユーザーアクセス情報を表示します。



注：共有がプライベートの場合は、権限を設定することができます。パブリック共有には常に読み取り / 書き込みのアクセス権限があるため、グレーアウト表示になります。

## 新規共有の作成

共有を作成し、それをパブリックまたはプライベートとして指定することができます。たとえば、財務情報が共有に存在する場合は、その共有をプライベートにします。友人に見てもらいたい写真がある場合は、その共有をその友人に対してパブリックにすることができます。

- ナビゲーションバーで **[共有]** アイコンをクリックして、**[共有の設定]** ページを表示します。
- [共有の追加]** アイコンをクリックします。
- [共有名]** と **[共有の説明]** (オプション) を入力し、**[保存]** をクリックします。

## 共有設定の編集

- [共有の設定]** 画面で、編集する共有を選択します。**[共有プロフィール]** パネルが表示されます。
- 必要に応じて、編集するフィールドを変更します。

## プライベート共有への変換

パブリック共有へのアクセスを制限する必要がある場合は、次の手順に従い、その共有をプライベート共有へ切り替えます。

1. [共有の設定]画面で、プライベートにしたい共有を選択します。
2. [共有プロファイル]領域で、[パブリック]トグルボタンをクリックし、[オフ]にします。
3. [ユーザーアクセス]セクションにリストされている各ユーザーに対して、その共有に該当するアイコン（読み取り / 書き込み、読み取り専用、アクセスなしなど）をクリックして、アクセスのレベルを選択します。

## 共有の削除

**警告！ 共有を削除すると、その共有上のすべてのファイルとフォルダーが消去されます。**

1. [共有の設定]画面で、削除する共有を選択します。
2. 左側のパネルで、[共有の削除]アイコンをクリックします。
3. 確認のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします。

## 共有のコンテンツをローカルでアクセス

注：共有のコンテンツをリモートでアクセスする場合の詳細については、43ページの「クラウドへのリモートアクセス」を参照してください。

プライベート共有の場合、ユーザーは次を所有している必要があります。

- 共有名に割り当てられたユーザー名とパスワード
- 共有への読み取り専用またはフルアクセス権限

共有を開く際に使用するもの...	手順...
Windows 8/Windows 8.1	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. タスクバーで、[ファイルエクスプローラー]アイコンをクリックします。</li> <li>2. 左側のパネルで、[ネットワーク]を選択して、本製品のデバイス名をダブルクリックします（デバイス名のリストは99ページの「付録D：WD Cloud デバイスのURLと名前」を参照）。</li> <li>3. デバイスで、パブリック共有またはプライベート共有をダブルクリックします。</li> </ol>
Windows Vista/Windows 7	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. をクリックするか、[スタート] &gt; [コンピューター]の順にクリックします。</li> <li>2. 左側のパネルで、[ネットワーク]を選択します。</li> <li>3. 本製品のデバイス名をクリックします（デバイス名のリストは、99ページの「付録D：WD Cloud デバイスのURLと名前」を参照）。</li> <li>4. デバイスで、パブリック共有またはプライベート共有をダブルクリックします。</li> </ol>

共有を開く際に使用するもの... 手順...	
Mac OS X	<ol style="list-style-type: none"><li>1. Finder ウィンドウを開き、サイドバーの [共有] 見出しの下で本製品のデバイスを探します。<ul style="list-style-type: none"><li>- 承認ページが表示された場合は、ユーザー名とパスワードを入力するか、[ゲスト] を選択して、<b>【接続】</b> をクリックします。</li></ul></li><li>2. デバイスをクリックして、デバイスのパブリック共有またはプライベート共有を表示します。</li></ol>
WD Quick View	WD Quick View アプリは、WD Cloud 機能を簡単に実行できる Windows のアプリケーションです。WD Quick View は WD Smartware をインストールすると自動でインストールされます。

## 7

## クラウドへのリモートアクセス

WD Cloud でクラウドアクセスを有効にする  
 ユーザー向けのクラウドアクセスの設定  
 iOS および Android モバイルアプリによるファイルのアクセス

この章では、本製品でリモートアクセスを設定する方法を説明し、多くの機能を活用する方法をいくつか紹介します。

### WD Cloud でクラウドアクセスを有効にする

本製品にリモートからアクセスできるようにするには、クラウドアクセスを有効にする必要があります。本製品のリモートアクセスを有効にし、リモート接続のステータスをチェックできるようにするには、66 ページの「クラウドアクセス」を参照してください。

スマートデバイスでクラウドアクセスを有効にするには、次の 3 つの方法があります。

- LAN（ローカルエリアネットワーク）で検出：LAN に接続している場合、クラウドアクセスソフトウェアは自動的にデバイスを検出し、一覧表示します。検出された後、クラウドに接続するために必要な手順を完了できます。
- 電子メール：本製品に新規ユーザーを追加する際にメールアドレスを登録することで、クラウドアクセスに必要なパスワードを設定し、アクティベートする手順をメールで受け取ることが可能です（43 ページの「WD クラウドアクセス」を参照）。
- アクティベーションコード：LAN に接続していない場合、クラウドにアクセスするためのアクティベーションコードを生成できます（44 ページの「クラウドデバイスアクセス」を参照）。

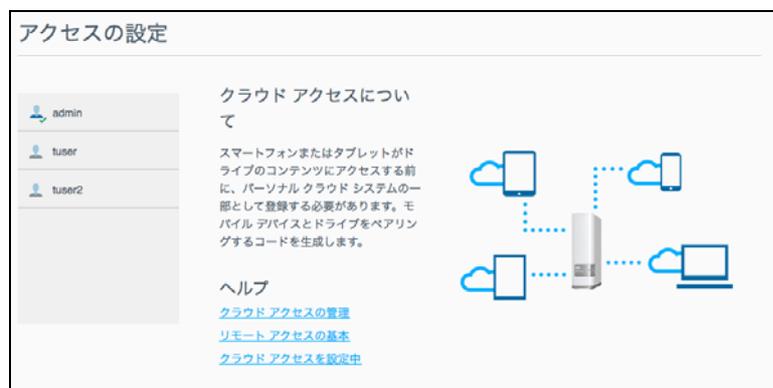
### ユーザー向けのクラウドアクセスの設定

本製品でクラウドアクセスを有効にしたら、次の手順に従い、デバイスのユーザーにリモートアクセス機能を割り当てます。

#### WD クラウドアクセス

次の手順に従い、WD Cloud へのアクセスを設定します。

1. ナビゲーションバーで、**クラウドアクセスアイコン**をクリックします。



2. 左側のペインで、WDCloud アクセスの設定対象とするユーザーを選択します。
3. <ユーザー名> での WDCloud.jp ログイン領域で、**登録**をクリックします。

4. WDCloud ログインの更新ダイアログで、ユーザーのメールアドレスを入力します。このメールアドレスは、ユーザー確認情報とクラウドアクセスのパスワードを設定し、アクティブにする手順を送信する際に使用します。
5. **保存**をクリックします。

## クラウドデバイスアクセス

次の手順に従い、ユーザーのモバイルデバイスと WD Cloud デスクトップアプリ用にアクティベーションコードを生成します。

---

**重要：** コードの有効期限はコード発行時点から 48 時間です。また、一度のみの使用になります。

---

1. ナビゲーションバーで、**クラウドアクセスアイコン**をクリックします。
2. 左側のペインで、クラウドデバイスアクセスの設定対象とするユーザーを選択します。
3. <ユーザー名>のクラウドデバイス領域で、**コードを取得**をクリックします。アクティブにするモバイルデバイスとアプリごとに1つのコードを生成しておく必要があります。WD Cloud デスクトップアプリをアクティベートする際にもコードが必要です。ダイアログボックスに、アクティベーションコードとその有効期限（日時）が表示されます。

注：生成したアクセスコードは必ずメモしておいてください。

4. **OK**をクリックします。<ユーザー名>のクラウドデバイス領域に、生成されたコードとその有効期限が表示されます。コードを使用すると、この領域に、ユーザーがアクセスできるようになったクラウドデバイスが表示されます。

## iOS および Android モバイルアプリによるファイルのアクセス

WD Cloud モバイルアプリを使用することで、どのデバイスからも、WD Cloud のあらゆるコンテンツにアクセスが可能になります。

### WD Cloud モバイルアプリ

モバイル端末の限られたストレージ容量を有効活用しましょう。パーソナルクラウドがあれば写真や動画を簡単にアップロードして、安全にアクセスし共有することができます。

WD Cloud モバイルがあれば、パーソナルクラウド、Dropbox™、その他のパブリッククラウドアカウントの間で、簡単にファイルをやり取りすることができます。

機能と手順の詳細については、[WD Cloud モバイルアプリ](#)内のヘルプ、ガイドミーページ、クイックヒントをご覧ください。

#### 要件

- 最新のファームウェアがインストールされ、インターネットに接続されている WD Cloud。
- クラウドサービスへのアクセスには、WD Cloud アプリの他、Dropbox™、Google Drive™、または OneDrive™ の有効なアカウントが必要です。

- 次のオペレーティングシステムのいずれかを搭載するスマートデバイス：
  - iOS 7.0 以降を搭載する iPhone または iPad
  - Android 4.0 以降を搭載するスマートフォンまたはタブレット

## WD Cloud モバイルアプリのインストール

1. Apple App Store、Google Play ストア、または Amazon アプリストア（Android 用）から WD Cloud モバイルアプリをダウンロードし、モバイルデバイスにインストールします。
2. アプリを起動します。
3. Western Digital のエンドユーザー使用許諾契約を確認し、**同意する**をクリックします。
4. **今すぐ接続**をタップします。

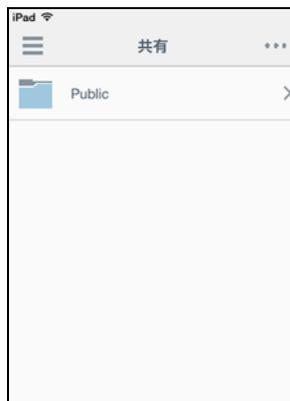


5. 次の接続オプションのいずれかを選択します。
  - **クラウドサインイン**：**+**をタップし、WD Cloud またはその他のパブリッククラウドのアカウントを使用して、デバイスにサインインします。
  - **手動で追加**：モバイルデバイスが WD Cloud デバイスと同じ LAN か Wi-Fi ネットワーク上にない場合は、次の作業を行います。
    - 手動で追加セクションで、WD デバイスをタップします。
    - WD Cloud で生成されたアクティベーションコードを入力し、**アクティブにする**をタップします（アクティベーションコードの取得についての詳細は、43 ページの「ユーザー向けのクラウドアクセスの設定」を参照）。



**注：** アクティブにするデバイスごとにコードを生成する必要があります。コードは発行後、48 時間有効です。また、一度のみ使用が可能です。

6. デバイスをタップすると、その共有が表示されます。



7. 共有をタップします。そのサブフォルダーが表示されます。
8. サブフォルダーをタップします。ファイルのリストが表示されます。
9. ファイルをタップして、アクセスします。

**注：** 機能と手順の詳細については、アプリのオンラインガイドミーページ、ヘルプ、FAQ、ヒントを参照してください。または、<http://www.wdcloud.jp/apps> をご覧ください。アプリのインストールで問題がある場合は、<http://www.wdcloud.jp/support> を参照してください。

## 8

## ファイルのバックアップと復元

- バックアップについて
- USB デバイスと USB バックアップの管理
- リモートバックアップ
- 内部バックアップ
- バックアップの詳細表示
- バックアップジョブの修正
- バックアップジョブの削除
- カメラバックアップ

### バックアップについて

WD Cloud では、さまざまな方法でデータをバックアップことができます。例：

- **USB バックアップ** – WD Cloud と USB デバイスとの間でデータをバックアップします。
- **リモートバックアップ** – WD Cloud のデータを、別の WD Cloud にバックアップします。
- **内部バックアップ** – 特定の共有フォルダを、同一の WD Cloud 内の別の共有フォルダにバックアップします。
- **カメラバックアップ** – WD Cloud に接続されたカメラのデータを WD Cloud にバックアップします。

### USB デバイスと USB バックアップの管理

WD Cloud に USB ドライブを接続することで、その USB ドライブをネットワークドライブの一部として共有することが可能です。接続すると、USB ドライブでは次のことが可能になります。

- WD Cloud に、My Passport™、メモリスティック、またはカメラなどの外付け USB ドライブを接続すると、Windows エクスプローラーや Mac の Finder からアクセスが可能になります。
- USB ドライブをバックアップ先に設定することが可能です。
- ドライブをユーザー共有ドライブとしてマッピングが可能です。
- WD 製外付けドライブがロックされている場合、WD Cloud に接続しても、設定されているセキュリティは維持されます。ダッシュボードを使用することで、ロック解除または再ロックが可能です。

### USB ドライブの接続

ストレージを増設してバックアップ機能を強化するには、USB ハードディスクドライブを WD Cloud の USB ポートに接続します。USB ドライブは、WD Cloud ダッシュボードで共有として表示されます。このページの上部にある USB アイコンをクリックすると、いつでも USB ドライブの詳細を表示できます。

WD Cloud は、以下のフォーマットの外付け USB ドライブに対応しています。

- FAT32
- NTFS（読み取り / 書き込み機能）
- HFS+J

**警告！** NFS または AFP ファイル転送を行っているときに USB デバイスをマウントまたは取り外しすると、ファイル転送プロセスが中断されます。

## USB バックアップの作成

次の手順に従い、本製品と USB デバイスとの間でデータをバックアップします。

注：この情報は、WD Cloud の背面に USB ポートがある場合のみ適用されます。

1. ナビゲーションバーでバックアップをクリックして、バックアップ画面を表示します。



2. **USB バックアップ**がまだ選択されていない場合は、それをクリックします。
3. **ジョブの作成**をクリックします。
4. 次の情報を入力して、USB バックアップジョブを作成します。

ジョブ名	バックアップのジョブ名を入力します。
方向	ドロップダウンメニューからバックアップの方向を指定します。次のオプションがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>USB から NAS</b> : USB デバイスのデータを WD Cloud にバックアップします。</li> <li>• <b>NAS から USB</b> : WD Cloud のデータを USB デバイスにバックアップします。</li> </ul>
バックアップ元フォルダー	参照をクリックし、バックアップするフォルダーを選択できます。
バックアップ先フォルダー	参照をクリックし、バックアップ先のフォルダを選択します。
バックアップタイプ	実行したいバックアップのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コピー</li> <li>• 同期</li> </ul>
接続時に自動起動する	このオプションでは、デバイスを接続したときにジョブが自動的に開始します。トグル ボタンをクリックして、このオプションのオン / オフを切り換えます。

5. **作成**をクリックします。
6. USB バックアップジョブ領域で、**バックアップ開始**アイコンをクリックしてバックアップを開始します。バックアップの進捗状況が USB バックアップジョブ領域に表示されます。

## リモートバックアップ

このオプションでは、WD Cloud 上のデータを別の WD Cloud にバックアップすることが可能です。

リモートバックアップを実行する前に、次の点を確認してください。

- このデバイスのバックアップ先となる別の WD Cloud が離れた場所に存在すること。現存する共有とデータが、このデバイスからバックアップ先となるデバイスにコピーされ、以前に存在していたデータに追加されます。
- 遠隔地に設置された WD Cloud で、リモートサーバー設定がオンになっていること。
- 遠隔地に設置された WD Cloud のバックアップパスワードが有効になっていること。
- 遠隔地に設置された WD Cloud をインターネットで参照できるようにするために、ポート転送を有効にしていること。

リモートバックアップの詳細については、WD ナレッジベースの回答 ID 11807 を参照してください。

## リモートバックアップの作成

次の手順に従い、WD Cloud を遠隔地に設置されたデバイスにバックアップします。

1. ナビゲーションバーで**バックアップ**をクリックして、バックアップ画面を表示します。
2. **リモートバックアップ**をクリックします。



3. **ジョブの作成**をクリックします。

4. 次の情報を入力して、リモートバックアップジョブを作成します。

ジョブ名	バックアップのジョブ名を入力します。
リモートサーバー	リモートサーバーのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• NASサーバー</li> <li>• WD Cloud</li> </ul>
リモートIPアドレス	遠隔地に設置されたデバイスのIPアドレスを入力します。(例: 192.168.1.16)
パスワード	リモートバックアップサーバーのパスワードを入力します。
SSHユーザー名	SSHユーザー名はデフォルトでSSHに設定され、変更できません。
SSHパスワード	リモートデバイスのSSHパスワードを入力します。
バックアップ元フォルダー	参照をクリックし、バックアップしたいフォルダを選択します。
バックアップ先フォルダー	参照をクリックし、バックアップ先のフォルダを選択します。
バックアップタイプ	実行したいバックアップのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コピー</li> <li>• 同期</li> </ul>
繰り返し	繰り返し機能を使用したい場合は、次の手順を行います。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トグルボタンをクリックして、繰り返しバックアップ機能を有効にします。</li> <li>2. バックアップの頻度を次の中から選択します。毎日、毎週、毎月。</li> <li>3. ドロップダウンメニューから、時刻（時間とAM/PM）を選択します。</li> </ol>

4. **作成**をクリックします。
5. USBバックアップジョブ領域で、**バックアップ開始**アイコンをクリックしてバックアップを開始します。バックアップの進捗状況がUSBバックアップジョブ領域に表示されます。

## リモートバックアップの復元

次の手順に従い、リモートサーバーに保存したデータを復元します。このプロセスでは、リモートサーバーに保存したデータをローカルサーバーに復元します。

1. リモートバックアップ画面のリモートバックアップジョブで、表示するジョブの横にある**回復**アイコンをクリックします。
2. 復元画面で、**OK**をクリックします。データの回復が始まります。

## 内部バックアップ

内部バックアップでは、同一の WD Cloud 上の 2 つの異なる格納領域の間で、既存のコンテンツをバックアップできます。

### 内部バックアップの作成

次の手順に従い、WD Cloud を内部でバックアップします。

1. ナビゲーションバーでバックアップをクリックして、バックアップ画面を表示します。
2. まだ選択されていない場合、**内部バックアップ**をクリックします。



3. **ジョブの作成**をクリックします。
4. 次の情報を入力して内部バックアップジョブを作成します。

ジョブ名	内部バックアップのジョブ名を入力します。
バックアップ元フォルダー	<b>参照</b> をクリックし、バックアップしたいフォルダを選択します。
バックアップ先フォルダー	<b>参照</b> をクリックし、バックアップ先のフォルダを選択します。
バックアップタイプ	実行したいバックアップのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• コピー</li> <li>• 増分</li> </ul>
繰り返しバックアップ	繰り返しバックアップ機能を使用する場合： <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トグルボタンをクリックして、繰り返しバックアップ機能を有効にします。</li> <li>2. バックアップの頻度を次の中から選択します。毎日、毎週、毎月。</li> <li>3. ドロップダウンメニューから、時刻（時間と AM/PM）を選択します。</li> </ol>

4. **作成**をクリックします。内部バックアップ キューにジョブが表示され、指定された時刻にバックアップが開始されます。

### 即時内部バックアップの初期化

- 内部バックアップ画面の内部バックアップキューで、修正するジョブを選択し、**今すぐ開始**ボタンをクリックします。内部バックアップが始まります。

## バックアップの詳細表示

次の手順に従い、USB、リモート、内部の各バックアップジョブの詳細を表示します。

1. まだ選択していない場合は、内部バックアップ画面で、USB、リモート、内部のいずれかのバックアップを選択します。
2. バックアップジョブまたはバックアップキューセクションで、表示するジョブを選択し、**ジョブ詳細**アイコンをクリックします。
3. バックアップジョブの詳細を確認したら、**閉じる**をクリックします。

## バックアップジョブの修正

次の手順に従い、USB、リモート、内部の各バックアップジョブを修正します。

1. まだ選択していない場合は、内部バックアップ画面で、USB、リモート、内部のいずれかのバックアップを選択します。
2. バックアップジョブまたはバックアップキューセクションで、修正するジョブを選択し、**ジョブの修正**アイコンをクリックします。
3. ジョブの修正ダイアログで、ジョブの必要な変更を行い、**保存**をクリックします。

## バックアップジョブの削除

次の手順に従い、USB、リモート、内部の各バックアップジョブを削除します。

1. まだ選択していない場合は、内部バックアップ画面で、USB、リモート、内部のいずれかのバックアップを選択します。
2. バックアップジョブまたはバックアップキューセクションで、削除するジョブを選択し、**ジョブの削除**アイコンをクリックします。
3. 確認のメッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。これで、選択したバックアップジョブは削除され、バックアップジョブリストから除外されます。

## カメラバックアップ

カメラバックアップでは、カメラにあるデータを WD Cloud にバックアップすることができます。共有にアクセスできるユーザーは、カメラのデータを保存した場所にナビゲートして、データにアクセスすることができます。

## カメラバックアップの作成

次の手順に従い、WD Cloud デバイスにカメラをバックアップします。

1. カメラが WD Cloud デバイスに接続されていることを確認してください。
2. ナビゲーションバーで**バックアップ**をクリックして、バックアップ画面を表示します。

3. **カメラバックアップ**がまだ選択されていない場合は、クリックして選択します。



4. 接続されているカメラのエリアで、ご使用のカメラが識別できることを確認します。
5. 設定エリアで次の情報を入力して、カメラのデータをバックアップします。

自動転送	トグルボタンをクリックして、カメラのデータを WD Cloud デバイスに自動的に転送します。
転送モード	カメラのデータをどのように転送したいかを選択します。次のオプションがあります： <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>コピー</b>：カメラの情報を WD Cloud デバイスにコピーします。このオプションでは、オリジナルデータはカメラに残ります。</li> <li>• <b>移動</b>：カメラのファイルを WD Cloud デバイスに移動し、カメラのファイルを削除します。</li> </ul>
フォルダーオプション	このオプションを選択すると、カメラファイルの転送先を指定できます。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. カメラフォルダーオプション画面には、次の項目があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- <b>転送フォルダー</b>：参照をクリックして、デバイスでのデータ転送先を入力し、<b>OK</b> をクリックします。</li> <li>- <b>フォルダー名</b>：プルダウンメニューからフォルダー名タイプを選択してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>- カスタムフォルダー名を選択した場合は、フォルダー名入力フィールドにフォルダー名を入力してください。</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2. <b>保存</b>をクリックします。</li> </ol>

3. 自動転送がオフになっている場合は、ファイル転送フィールドで、**今すぐコピー / 移動**をクリックしてファイル転送を開始します。
4. 完了すると、ステータスフィールドに、接続されているデバイスのバックアップが完了したこと、および完了したダウンロードの日付、曜日、時刻が表示されます。

## 9

## WD Cloud でのアプリの管理

アプリについて  
アプリの管理

### アプリについて

アプリは、デバイスやサービスの現在の機能を強化するために使用される、小さな自己完結型のプログラムです。WD Cloud はさまざまなアプリに対応しており、デバイスをさらに効果的に活用することが可能になります。

**注：** WD は、アプリをデバイスにインストールする前に、アプリの性質を十分に理解することをお勧めします。

**注：** アプリのサポートについては、それぞれのアプリの開発元にお問い合わせください。

WD Cloud には、さまざまなアプリがあらかじめインストールされています。

### アプリの管理

アプリ画面には、現在インストールされているアプリのリストが表示されます。この画面では、新規にアプリを追加したり、不要になったアプリを削除することが可能です。

**注：** あらかじめインストールされているアプリを削除することはできません。

### アプリの表示

1. ナビゲーションバーで、**アプリ**をクリックします。アプリ画面が表示されます。

2. アプリを選択するには、左側のペインでアプリの名前をクリックします。右側のペインにアプリが表示されます。

## アプリの追加

次の手順に従い、本製品にアプリを追加します。

1. ナビゲーションバーで、**アプリ**をクリックします。アプリ画面が表示されます。
2. 画面の左下にある**アプリの追加**アイコンをクリックします。初めてアプリを追加すると、利用規約の画面が表示されます。契約を読み、受諾します。
3. アプリの詳細については、**詳細**をクリックします。詳細画面を閉じます。
4. デバイスに追加するアプリの隣にチェックを付け、続いて**インストール**をクリックします。選択したアプリがデバイスに追加されます。

## 手動でのアプリの追加

アプリの追加画面に表示されていないアプリを追加する場合、次の手順に従い、そのアプリを本製品に手動で追加します。

**注：** WD は、アプリをデバイスにインストールする前に、アプリの性質を十分に理解することをお勧めします。

1. ナビゲーションバーで、**アプリ**をクリックします。アプリ画面が表示されます。
2. 画面の左下にある**アプリの追加**アイコンをクリックします。
3. **アプリを手動でインストールするには、ここをクリック**のリンクをクリックします。
4. デバイスにインストールするアプリにナビゲートします。
5. インストールするアプリを選択し、**開く**をクリックします。選択したアプリがデバイスにインストールおよび追加されます。

## アプリの削除

次の手順に従い、本製品からアプリを削除します。

**注：** 出荷時にインストールされているアプリは削除できません。

1. ナビゲーションバーで、**アプリ**をクリックします。アプリ画面が表示されます。
2. 左側のペインにあるアプリのリストから、デバイスから削除するアプリを選択します。
3. 画面の左下にある**アプリの削除**アイコンをクリックします。
4. 確認のメッセージが表示されたら、**OK**をクリックします。アプリがデバイスから削除され、ユーザー アカウント リストに表示されなくなります。

## アプリの更新

次の手順に従い、本製品に追加したアプリを更新します。

1. ナビゲーションバーで、**アプリ**をクリックします。アプリ画面が表示されます。
2. デバイスに追加したアプリのいずれかにアップデートがある場合、画面の右上に入手可能なアップデートリンクが表示されます。
3. **入手可能なアップデート**リンクをクリックして、入手可能なアップデート画面を表示します。
4. 更新するアプリをリストから選択し、**更新**をクリックします。
  - 更新の詳細を表示する場合は、**詳細**をクリックします。
  - 更新画面に戻るには、**戻る**をクリックします。

## 10

# ビデオ、写真、音楽の再生 / ストリーミング

メディアサーバー

メディアストレージ

DLNA および iTunes を有効にする

メディアプレーヤーを使用した WD Cloud デバイスのアクセス

iTunes を使用した WD Cloud デバイスのアクセス

## メディアサーバー

本製品は、ご自宅のメディアサーバーとして機能するように設計されています。写真、音楽、ビデオを DLNA 対応のデバイスに、音楽を iTunes 対応のデバイスにストリーミングすることが可能です。

DLNA 対応のデバイスと iTunes 対応のデバイスはどちらも、メディアサービスが有効に設定されているパブリック共有に保存されているメディアを検索します。デフォルトでは、DLNA メディアは無効です。[設定] > [メディアサーバー] ページで有効にすることで、パブリック共有のメディアサービスも自動的に有効になります。その他の共有については、メディアサービスはオフのままです。

特定のメディアファイルを DLNA で表示しないようにするには、メディア共有が無効に設定されているプライベート共有に置いてください（40 ページの「共有設定の編集」を参照）。

## メディアサーバーの概要

WD Cloud では、DLNA メディアサーバーとして TwonkyMedia を使用します。ご自宅にある DLNA 対応デバイスに音楽、写真、ビデオをストリーミングします。対応デバイスでは、メディアを簡単に再生することが可能です。

メディアサーバーは、ご自宅のネットワークに接続された WD Cloud 上のパブリック共有に保存されているメディアをすべて検索します。デバイスのメディアサービスを有効にしたら（58 ページの「DLNA および iTunes を有効にする」を参照）、WD Cloud のパブリック供給にマルチメディアコンテンツを転送することができます。これで、ホームエンターテインメントセンター、ゲーム機（Xbox 360® または PlayStation® 3）、WD TV Live™ メディアプレーヤー、または DLNA® 1.5 デジタルメディアアダプター、自宅やオフィスネットワーク上の PC コンピューターでコンテンツをストリーミングして、視聴できる準備が整いました。DLNA の詳細については、<http://www.dlna.org> をご覧ください。

## iTunes の概要

iTunes から WD Cloud 上に保存された音楽ファイルを再生することができます。iTunes はデバイス上に仮想的な音楽ライブラリを作成し、それを iTunes レポジトリとして扱います。これにより、iTunes を実行している Windows や Mac に、WD Cloud から音楽ファイルをストリーミングすることができます。

デフォルトでは、iTunes はメディアサービスが有効に設定されている共有（パブリック共有など）をスキャンします。

## 対応するメディアの種類

 オーディオファイル	 ビデオファイル	 イメージファイル
3GP	3GP	BMP
AAC	ASF	JPEG
AC3	AVI	PNG
AIF	DivX	TIF
ASF	DV	
FLAC	DVR-MS	
LPCM	FLV	
M4A	M1V	
M4B	M2TS	
MP1	M4P	
MP2	M4V	
MP3	MKV	
MP4	MOV	
MPA	MP1	
OGG	MP4	
WAV	MPE	
WMA	MPEG1	
	MPEG2	
	MPEG4	
	MPG	
	MTS	
	QT	
	QT1	
	QTIF	
	RM	
	SPTS	
	TS	
	VDR	
	VOB	
	WMV	
	Xvid	

**注：**一部のデバイスでは、これらすべてのファイルを再生できない場合があります。デバイスのユーザーマニュアルを参照して、どのファイル形式に対応しているかを確認してください。

## iTunes で対応可能なメディアの種類

**注：** iTunes 10.4 以降では、音楽ファイルのみに対応しています。iTunes の対応バージョンに関する追加情報については、WD ナレッジベースの回答 ID 8412 を参照してください。

iTunes メディアサーバーは、次の拡張子のファイルに対応しています。FLAC、M4A、MP3、MP4A、WAV。

**注：**一部のデバイスでは、これらすべてのファイルを再生できない場合があります。デバイスのユーザーマニュアルを参照して、どのファイル形式に対応しているかを確認してください。

## メディアストレージ

ネットワーク共有により、WD Cloud 上のメディアコンテンツにアクセスし、保存することができます。

本製品では、メディアストレージ用に、次のパブリックネットワーク共有用のフォルダが設定されています。

- **Shared Music** — 他のユーザーと共有したい音楽ファイルを保存します。
- **Shared Pictures** — 他のユーザーと共有したい画像ファイルを保存します。
- **Shared Videos** — 他のユーザーと共有したいビデオファイルを保存します。

**注：**パブリック共有の Shared Music 共有と Shared Pictures 共有には、ミラーリングされたサブフォルダーとアップロードされたサブフォルダーがあることにお気付きになるでしょう。これらは、Twonky 7.2 で必要になるフォルダーです。「アップロード」機能がある DLNA クライアントからアップロードしたサブフォルダーに、すべてのメディアの種類を「アップロード」できます。

DLNA 機能があるネットワーク上のすべての NAS デバイスから、ミラーリングしたフォルダーに、コンテンツを集約するには、Twonky 設定サイト (NAS\_IP:9000) にアクセスしてください。アップロードとミラーリング機能は、WD カスタマーサポートではサポートされないため、熟練したユーザーに任せるのが最善です。

## DLNA および iTunes を有効にする

[設定] 画面の [メディア] ページでは、DLNA および iTunes のメディアサーバーを有効または無効にすることができます。[メディア] ページには、NAS を再スキャンしたり、DLNA データベースを完全に復元するための、メディアサーバーユーティリティもありません。



## DLNA を有効にする

1. ナビゲーションバーで **【設定】** をクリックし、左側のパネルで **【メディア】** をクリックします。
2. **【DLNA メディアサーバー】** 領域の **【メディアストリーミング】** フィールドで、トグルボタンをクリックして **【オン】** にします。

**注：** デフォルトでは、**【メディアストリーミング】** は **【オフ】** になっています。共有に対してメディアサービスを行うには、メディアサーバーを有効にする必要があります（共有でメディアサービスを有効にするには、40 ページの「新規共有の作成」を参照してください）。

## iTunes を有効にする

1. ナビゲーションバーで **【設定】** をクリックし、左側のパネルで **【メディア】** をクリックします。



1. **【iTunes】** 領域の **【iTunes】** フィールドで、トグルボタンをクリックして、iTunes を有効にします（有効ではない場合）。

**注：** デフォルトでは、**【iTunes】** は **【オン】** になっています。無効にするには、トグルボタンをクリックして **【オフ】** にします。

2. **【詳細オプション】** をクリックして、iTunes の追加オプションを表示します。
  - **【iTunes】** が **【オフ】** の場合、このフィールドは画面に表示されません。
3. iTunes で WD Cloud デバイスにアクセスする際にパスワードを使用する場合：
  - トグルボタンをクリックして、**【オン】** にします。
  - パスワードを入力してください。
4. **【自動再読み込み】** のドロップダウンメニューから iTunes のメディア再読み込みの頻度を選択します。
5. **【保存】** をクリックして設定を保存します。

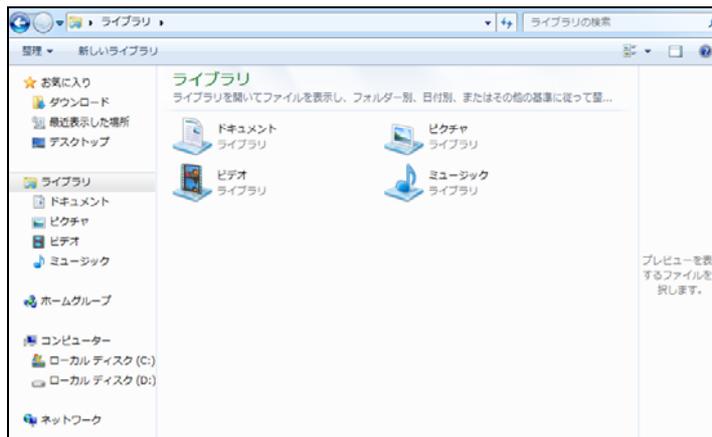
### iTunes の再読み込み

次の手順に従い、iTunes ディレクトリを再度読み込みます。これにより、iTunes は新しいメディアを取得できます。

1. ナビゲーションバーで **【設定】** をクリックし、左側のパネルで **【メディア】** をクリックします。
2. **【iTunes データベース】** フィールドで、**【最新の情報に更新】** をクリックします。

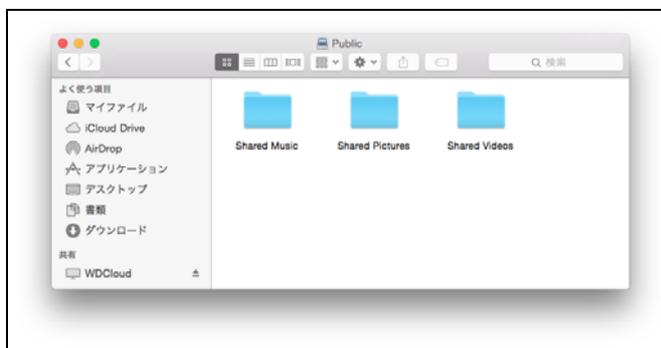
## フォルダーへのメディアコンテンツの追加

1. **Windows エクスプローラー**または **Mac Finder** を開きます。



Windows エクスプローラー

2. 本製品の Shared Music フォルダーに移動し、音楽ファイルを Shared Music フォルダーにコピーします。



Mac Finder

3. 同様に、ビデオと写真を、Shared Pictures フォルダーおよび Shared Video フォルダーに、それぞれコピーします。

## メディアプレーヤーを使用した WD Cloud デバイスのアクセス

ファイルをいずれかの共有フォルダーにコピーしたら、各種メディアプレーヤーを使用して、メディアをストリーミングすることができます。次の種類に対応しています。

- WD TV Live メディアプレーヤー
- Windows Media Player 11 (Windows Vista 付属)
- Windows Media Player 12 (Windows 7 および Windows 8 付属)
- Xbox 360
- PlayStation 3
- その他のメディアプレーヤー
  - BluRay プレーヤー
  - ネットワーク対応テレビ
  - デジタルフォトフレーム
  - ネットワークオーディオプレーヤー
- DLNA デバイス

**注：** メディアプレーヤーの使用とアップデートに関する個別情報については、該当するサポートサイトをご覧ください。

## WD 製メディアプレーヤー

各種 WD TV および WD 製メディアプレーヤーをご自宅のネットワークに接続することで、WD Cloud などのネットワークドライブに保存したメディアコンテンツにアクセスすることができます。WD 製メディアプレーヤーを使用してデバイス上のファイルにアクセスする場合の詳細については、WD ナレッジベースの回答 ID 9769、または WD 製メディアプレーヤーのユーザーガイドを参照してください。

## その他のメディアプレーヤー

デジタルピクチャフレーム、Blu Ray プレーヤー、ネットワーク対応テレビ、デジタルメディアアダプターなどのデバイスを設定する一般的な手順は、次のとおりです。

1. WD Cloud がご自宅のローカルネットワークに接続されていて、電源が入っていることを確認します。
2. お使いのメディアプレーヤーに付属のユーザーマニュアルに従い、ドライバーの初期設定またはインストールを行います。
3. プレーヤーのナビゲーション機能を使用して、ネットワーク上の WD Cloud をスキャンして検出します。
4. プレーヤーにもよりますが、プレーヤーが WD Cloud にリンクできるようにするには、ユーザーインターフェースで [設定 / ネットワークセットアップ] ページにアクセスして、接続を確立することが必要になる場合があります。個別の手順については、お使いのプレーヤーのユーザーマニュアルを参照してください。

## DLNA デバイス

WD Cloud 上のコンテンツにアクセスできるように、DLNA 対応デバイスをローカルエリアネットワークに接続する場合の手順については、DLNA メディアデバイスのユーザーマニュアルを参照してください。DLNA 認定デバイスのリストおよび詳細情報については、<http://www.dlna.org> を参照してください。

## iTunes を使用した WD Cloud デバイスのアクセス

誰でも iTunes を使用して、WD Cloud に保存された音楽ファイルを再生することができます。このサービスはデバイス上に仮想的な音楽ライブラリを作成し、それを iTunes レポジトリとして扱います。これにより、iTunes を実行している Windows や Mac に、WD Cloud から音楽ファイルをストリーミングすることができます。対応可能なメディアタイプのリストについては、「対応するメディアの種類」(57 ページ) を参照してください。

**注：** iTunes 10.4 以降では、音楽ファイルのみに対応しています。iTunes の対応バージョンに関する追加情報については、WD ナレッジベースの回答 ID 8412 を参照してください。

**注：** デフォルトでは、iTunes はメディアサービスが有効に設定されている共有 (パブリック共有など) をスキャンします。

パブリック共有内の該当フォルダーにメディアファイルをドラッグアンドドロップすることができます (たとえば、音楽ファイルのデフォルト共有は WDCloud/Public/Shared Music)。

## iTunes でメディアをストリーミングする

デフォルトでは、iTunes はダッシュボードで有効になっています。iTunes 設定の詳細については、59 ページの「iTunes を有効にする」を参照してください。

1. コンピューターで iTunes を起動します。
2. 左側のペインの [共有] セクションの下にある **[WDCloud]** をクリックします。音楽を /Public/Shared Music フォルダーに、またはビデオを /Public/Shared Videos フォルダーにコピーしており、それが iTunes が対応しているファイル形式の場合は、右側のペインにリストされます。
3. 再生するメディアファイルをダブルクリックします。

## 11

## 設定

- 全般
- ネットワーク
- メディア
- ユーティリティ
- 通知
- ファームウェアの更新

ナビゲーションバーの設定オプションにより、管理者は、システム、ネットワーク、メディア、ユーティリティ、通知、ファームウェアに関する WD Cloud の各設定を表示し、カスタマイズすることができます。この章では、本製品にさまざまな設定を行う方法について説明します。

## 全般

全般ページでは、次のことが可能です。

- 本製品のデバイス名と説明を表示、修正する。
- Web ページで表示する言語を選択する。
- 本製品の日付、時刻、タイムゾーンを設定する。
- 本製品のクラウドアクセスを有効にする。
- 省エネオプションを設定する。
- Mac の Time Machine バックアップを有効にする。
- 本製品に搭載されたさまざまなサービスを有効にする。
- カメラ設定を管理する。

---

**警告！** 本製品の名前を変更すると、すべてのネットワークコンピューターは、強制的にその共有ネットワークリソースを割り当て直します。必要に応じて、デバイス名を変更してください。

---

## 全般画面のアクセス

ナビゲーションバーで、**設定**をクリックします。全般ページが表示されます。

### 設定

---

全般

ネットワーク

メディア

ユーティリティ

通知

ファームウェア更新

#### デバイス プロファイル

デバイス名

説明

シリアル番号

---

#### 言語と時刻

言語

タイムゾーン

NTP サービス    ⓘ

プライマリ サーバー time.windows.com [設定>>](#)

日時 2015年6月6日 8:00:02

時刻の形式

---

#### クラウド アクセス

クラウド サービス  ⓘ [設定>>](#)

接続ステータス 接続 (リレー接続が確立されました) ⓘ

USB コンテンツの可用性   オフ

---

#### 省電力

ドライブスリープ  ⓘ

LED  ⓘ

Web アクセス タイムアウト  ⓘ

---

#### Mac バックアップ

Time Machine  ⓘ [設定>>](#)

---

#### サービス

ゴミ箱  [設定>>](#)

## デバイスプロフィール

デバイス プロファイル	
デバイス名	WDCloud
説明	Personal Cloud Storage
シリアル番号	WX21DC4D50CH

1. 全般ページのデバイスプロフィールセクションでは、次の設定を表示または修正します。

デバイス名	ネットワーク上で識別できるように、他と重複しないデバイスの名前を入力してください。デバイスの名前の長さは最大 15 文字であり、特殊文字 (@、#、\$ など) は使用できません。
説明	デフォルトの説明は、WDCloud< モデル番号 > です。必要に応じて、デバイスの別の説明を入力してください。デバイスの説明の長さは最大 32 文字であり、特殊文字 (@、#、\$ など) は使用できません。
シリアル番号	個々の製品を識別するために WD が割り当てた番号が表示されます。このフィールドは変更できません。

2. 変更を行った場合は、**保存** (変更したフィールドの横に表示) をクリックします。

**注：** WD Cloud ダッシュボード全体を通じて、**保存**と**キャンセル**ボタンは変更を行った場合にのみ表示されます。

## 言語と時刻

全般画面のこのセクションでは、WD Cloud デバイスのインターフェースに表示される言語を変更し、日付と時刻を設定します。デフォルトでは、日付と時刻は NTP (ネットワークタイムプロトコル) サーバーと同期しています。日付と時刻を手動で設定するオプションや、NTP がインターネットにアクセスして自動的に時刻を設定するオプションがあります。インターネットに接続していない場合は、日付と時刻を手動で入力する必要があります。

言語と時刻	
言語	日本語
タイムゾーン	(GMT-08:00) 太平洋標準時 (米国および...)
NTP サービス	オン
プライマリ サーバー	time.windows.com <a href="#">設定&gt;&gt;</a>
日時	2014年12月23日 5:04:25
時刻の形式	12
日付の形式	YYYY-MM-DD

1. 言語と時刻セクションで、次の設定を表示または修正できます。

言語	ドロップダウンリストから、本製品管理用の Web ページで表示する言語を選択します。デフォルトの言語は英語です。
タイムゾーン	ドロップダウンリストから、デバイスが位置している場所のタイムゾーンを選択します。
NTP サービス	NTP（ネットワークタイムプロトコル）サービスを有効または無効にします。このサービスは、デバイスを自動的に同期させて時刻と日付を更新します。
プライマリサーバー	NTP サービスで使用するプライマリサーバーを変更します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 変更するには、<b>設定</b>をクリックします。</li> <li>• <b>ユーザー NTP の追加</b>をクリックし、新しいプライマリサーバーの URL アドレスを入力します。</li> <li>• <b>保存</b>をクリックします。</li> </ul>
日時	デバイスの日付と時刻が表示されます。デフォルトでは、この情報は NTP サーバーと同期しています。
時刻の形式	ドロップダウンリストから <b>12</b> （12 時間表示）または <b>24</b> （24 時間表示）を選択します。
日付の形式	ドロップダウンリストから、デバイスに日付を表示するために使用する日付形式を選択します。

2. いずれかの変更を行った場合は、**保存**をクリックします。

## クラウドアクセス

次の手順に従い、すべてのユーザーのクラウドアクセスをオンまたはオフに切り替えま  
す（パソコンやモバイル端末から WD Cloud にアクセスできるようにするかどうかを設  
定します）。

**注：** この設定により、デバイス全体のクラウドアクセスがオンに切り替わりま  
す。デバイスごとにアクセスをオンに切り替えるには、43 ページの  
「ユーザー向けのクラウドアクセスの設定」を参照してください。



1. 全般画面のクラウドアクセス領域を下にスクロールします。
2. クラウドサービスフィールドのトグルボタンを必ずオンに設定してください。接続ステータスが接続済み（ポート転送接続が確立済み）に変わります。
3. クラウドアクセスで使用する接続のタイプを変更するには、**設定**をクリックします。

クラウドアクセス接続オプション画面には、次の3つのアクセスオプションがあります。

- **自動**：自動では、uPnP (Universal Plug and Play) を使用してルーターのポートを開くよう試行します。成功すると、デバイスとアプリとの間で直接接続が確立されます。
- **手動**：選択した2つのポート経由で接続を確立します。ポートが使用できない場合は、リレー接続が確立されます。このオプションでは、手動のルーター設定が必要です。ルーターを手動でセットアップする方法については、ナレッジベースの回答 ID 8526 を参照してください。
- **Win XP**：ポート80および443を使用した接続を確立します。これらのポートが利用できない場合は、中継接続が確立されます。Windows XP をご使用の場合は、個のオプションが必要です。

**注**： デフォルトでは、WD Cloud デバイスは、モバイルデバイスとルーターとの間で直接接続を自動的に確立します。

4. コンテンツデータベースフィールドで、再構築をクリックして WDCloud データベースを再構築します。

**注**： データベースが破壊されている疑いがある場合のみ、このオプションを実行してください。

5. **保存**をクリックします。接続ステータスフィールドにより、デバイスが接続されていることが示されます。

## 省電力

省電力フィールドでは、本製品を稼働するのに必要なエネルギーを減らすことができます。次の情報を使用して、本製品の省電力オプションを設定します。



次の設定を表示または変更します。

ドライブスリープ	この機能を有効にすることで、指定した休止時間を経過後にハードディスクドライブをスタンバイモードに移行させて消費電力を節約することが可能になります。デフォルトでは、ドライブスリープは有効であり、約10分後にスリープになります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ドライブスリープを有効/無効にするには、トグルボタンをクリックします。</li> </ul>
LED	この機能を有効にすると、デバイス LED はスタンバイモードに移行して電力を節約できません。デフォルトでは、LED は有効です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>LED を有効/無効にするには、トグルボタンをクリックします。</li> </ul>
Web アクセスタイムアウト	指定した時間を過ぎたら、システムから自動的にログアウトします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Web アクセスタイムアウトドロップダウンメニューから、システムタイムアウトで使用する時間を選択します。システムが自動的に更新されます。</li> </ul>

## Mac バックアップ

全般画面のこのセクションでは、Mac コンピューターの Time Machine バックアップを有効または無効にします。



**重要：** Time Machine バックアップを復元するには、管理者アカウントにパスワードを設定する必要があります。

### バックアップ設定を行う手順：

1. まだ有効でない場合、Mac のバックアップ領域で、トグルボタンをクリックして、Time Machine バックアップを有効にします。
2. **設定**リンクをクリックします。Time Machine の設定ダイアログが表示されます。
3. **共有を選択**ドロップダウンリストから、Mac のデータをバックアップする際に使用する共有を選択します。
4. **最大サイズフィールド**で、バックアップで使用する最大値までスライダーを移動します。

**注：** 初期バックアップ後に最大バックアップ値を増やしても、既存のバックアップに影響はありません。WD はこの設定を初期バックアップの最大値のままにすることをお勧めします。最初のバックアップが完了した後に、最大サイズスライダーをドラッグして、バックアップサイズを変更できます。

## 5. 保存をクリックします。

---

**重要：** 選択した共有に Time Machine でファイルのバックアップを開始したら、引き続きその共有にバックアップすることをお勧めします。共有を変更すると、新しいバックアップファイルが作成され、そのファイルには以前に保存した情報は含まれません。

---

## サービス

全般画面のこのセクションでは、本製品上で利用可能なゴミ箱を有効または無効にします。



### ごみ箱のクリア

次の手順に従い、デバイスのごみ箱をクリアします。

自動的にごみ箱をクリアするには：

1. サービス > ごみ箱領域で、**設定**をクリックします。
2. ごみ箱の自動クリアフィールドで、トグルボタンをクリックして、自動クリア機能をオンに切り替えます。
3. ファイル保持期間フィールドで、クリアするまでにデータを保持する日数を入力します。
4. **保存**をクリックします。

手動でごみ箱をクリアするには：

- デバイスのごみ箱を手動でクリアするには、**クリア**をクリックします。

## ネットワーク

ネットワーク画面には、本製品の MAC アドレスと IP アドレスが表示されます。ここでは、FTP アクセス、リモートサーバー、ワークグループなどの、ネットワークオプションを設定することができます。

### ネットワーク プロファイル

ステータス	インターネット アクセス 
MAC アドレス	00:90:A9:F8:8B:B3
IPv4 IP アドレス	192.168.100.147
IPv4 DNS サーバー	192.168.100.1

---

### ネットワーク サービス

IPv4 ネットワーク モード	<input type="radio"/> 固定 <input checked="" type="radio"/> DHCP 
FTP アクセス	<input type="checkbox"/> オフ 
SSH	<input type="checkbox"/> オフ 

---

### ネットワーク UPS

スレープ	<input type="checkbox"/> オフ 
------	---

---

### Windows サービス

ワークグループ	<input type="text" value="WORKGROUP"/> 
ローカル マスタ ブラウザ	<input type="checkbox"/> オフ 
最大 SMB プロトコル	<input type="text" value="SMB 2"/> 

---

### リモート サーバー

リモート サーバー	<input type="checkbox"/> オフ 
-----------	---

---

### ポート転送

WD Cloud デバイスには、ポート転送サービスが追加されていません。

 [詳細](#)

## ネットワークプロファイル

ネットワーク画面のネットワーク プロファイルセクションには、本製品のネットワーク情報が表示されます。

ネットワーク プロファイル	
ステータス	インターネット アクセス ⓘ
MAC アドレス	00:90:A9:F8:8B:B3
IPv4 IP アドレス	192.168.100.147
IPv4 DNS サーバー	192.168.100.1

ネットワーク プロファイルセクションには、次の情報が表示されます。

ステータス	インターネット接続の現在の状態です。
MAC アドレス	このデバイスのメディアアクセス制御 (MAC) アドレス。
IPv4 IP アドレス	このデバイスの IP バージョン 4 アドレス。
IPv4 DNS サーバー	このデバイスの IP バージョン 4 DNS アドレス。

## ネットワークサービス

ネットワーク画面のネットワーク サービスセクションでは、本製品で使用できるサービスを有効または無効にすることができます。

ネットワーク サービス	
IPv4 ネットワーク モード	固定 <b>DHCP</b> ⓘ
FTP アクセス	オフ ⓘ
SSH	オフ ⓘ

次のフィールドを確認または変更できます。

---

IPv4 ネットワーク モード	<p>デフォルトでは、ネットワークモードは DHCP に設定されています。すなわち、本製品はネットワークから IP アドレスなどの設定を自動的に取得します。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. デバイスに一意的 IPv4 アドレスを割り当てる方法を選択します。<ul style="list-style-type: none"><li>• <b>静的</b>：固定 IP アドレスでは、接続する度に同一の IP アドレスになります。IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ IP アドレス、DNS サーバーを入力するように指示が出ます。（これらの情報について不明な場合は、ルータの設定をご確認ください）。</li><li>• <b>DHCP</b>：DHCP クライアントを選択すると、WD Cloud は IP アドレスと関連の設定をローカルの DHCP サーバーから自動的に取得します。</li></ul></li></ol> <p>注： 固定または DHCP を設定する時は、今後の参考にするために、サブネット マスク、ゲートウェイ IP アドレス、DNS サーバーを安全な場所に記録しておいてください。この情報は、WD Cloud サーバーに入力した後には表示されなくなります。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>2. LAN セットアップ ウィザードを実行して、ネットワークモードをセットアップします。</li></ol>
--------------------	--

---

FTP アクセス	<p>FTP（ファイル転送プロトコル）により、あるコンピューターから別のコンピューターにネットワークを介してデータを転送することができます。</p> <p>FTP アクセスを有効にするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. トグルボタンをクリックして、<b>オン</b>にします。</li> <li>2. <b>設定</b>をクリックします。</li> <li>3. FTP 設定 画面で、次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>最大ユーザー</b>：ドロップダウンメニューから、FTP アクセス権限を与えるユーザーの最大数を選択します。</li> <li>• <b>アイドルタイム</b>：FTP がタイムアウトするまでのアイドル時間を分単位で入力します。</li> <li>• <b>ポート</b>：FTP アクセスに使用するポートを入力します。</li> <li>• <b>フロー制御</b>：<b>無限</b> または <b>カスタマイズ</b> を選択します。カスタマイズ を選択した場合は、フロー制御 の値を入力します。</li> </ul> </li> <li>4. <b>次へ</b>をクリックします。</li> <li>5. <b>受動モード</b>フィールドで、<b>デフォルト</b>または<b>カスタマイズ</b>のいずれかを選択します。カスタマイズ を選択すると、<b>パッシブモード</b> の値を入力します。</li> <li>6. PASV（受動）モードで外部 IP をレポートする場合、<b>チェックボックス</b>を選択します。続いて<b>次へ</b>をクリックします。</li> <li>7. 次の情報を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>クライアント言語</b>：ドロップダウンメニューからクライアント言語を選択します。</li> <li>• <b>TLS</b>：必要に応じて、Implicit TLS または Explicit TLS 接続の横にあるトランスポート レイヤー セキュリティ (TLS) チェックボックスを選択します。</li> <li>• <b>FXP</b>：FXP（ファイル交換プロトコル）を有効にするには、トグルボタンをクリックして<b>オン</b>にします。</li> </ul> </li> <li>8. <b>次へ</b>をクリックします。</li> <li>9. FTP アクセスからブロックする任意の IP アドレスを入力し、ドロップダウンメニューから<b>永続的</b>または<b>一時的</b>のいずれかを選択します。<b>保存</b>をクリックしてエントリーを保存します。</li> <li>10. <b>完了</b>をクリックします。</li> </ol>
SSH	<p>セキュアシェル（SSH）プロトコルで、WD Cloud デバイスに安全にアクセスし、コマンドラインの操作を行うには、このオプションを選択します。デフォルトでは、SSH は無効です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. SSH を有効 / 無効にするには、トグルボタンをクリックします。</li> <li>2. 同意するをチェックして、以下の警告を読んだことを示します。 <p><b>警告！</b> 製品の通常操作以外でこのデバイスを修正するまたは修正を試みると、WD 保証が受けられなくなることに注意してください。</p> </li> <li>3. 新しいパスワードを入力します（確認のため 2 回）。</li> <li>4. <b>次へ</b>をクリックします。</li> </ol> <p>注： SSH ユーザー名はデフォルトで <b>sshd</b> に設定され、変更できません。</p>

## Network UPS

UPS（無停電電源装置）は、バッテリーなしで動作し、主電源が停止しても、短時間はUPSポートに接続されているデバイスを起動したままにできるデバイスです。UPSを介して本製品をネットワークドライブに接続している場合、一定の割合までUPSが消耗するとドライブが自動的にシャットダウンされます。

本製品との通信は、マスター/スレーブプロトコルを使用して実行されます。この場合、マスターデバイスがスレーブデバイスをコントロールします。

UPSをUSB経由で本製品に接続している場合、デバイスは自動的にUPS Network Masterになります。UPSに接続している他のWD Cloudは、UPS MasterのIPアドレスを指定します。UPSが特定の割合まで消耗した場合、すべてのWD Cloudスレーブドライブは自動的にシャットダウンされます。



### ネットワーク UPS を設定するには：

1. スレーブモードトグルボタンをクリックしてオンにします。Network UPS スレーブモード画面が表示されます。
2. UPS Master の IP アドレスを入力します。進行中画面が表示されます。設定が更新されると、Network UPS スレーブがオフに設定された状態でネットワーク画面が表示されます。

## Windows サービス

ネットワーク画面のWindows サービスセクションでは、WD Cloud のWindows サービスアプリケーションを設定できます。



### ワークグループ

ワークグループ機能により、同じワークグループ内のデバイスは相互にアクセスできるようになります。このオプションは、Windows オペレーティングシステム専用です。ネットワークにデバイスを追加するたびに、同じワークグループ名を割り当てて、アクセスを有効にします。

1. ワークグループフィールドに、ネットワークでのワークグループの名前を入力します。
2. **保存**をクリックします。

## ローカルマスターブラウザ

ローカルマスターブラウザ機能により、複数のサブネットにわたるリソースやサービス情報を収集し、記録できます。

- ローカルマスターブラウザを有効/無効にするには、トグルボタンをクリックします。

## 最大 SMB プロトコル

最大 SMB（サーバーメッセージブロック）プロトコル機能により、デバイスで使用する最大 SMB プロトコルを選択できます。

- プルダウンメニューから最大 SMB プロトコルを選択します。

## リモートサーバー

ネットワーク画面のリモートサーバーセクションでは、本製品をリモートサーバーとして動作させることができます。これにより、ローカル LAN または WAN 上の別の WD Cloud から共有をバックアップすることができます。



**注：** インターネット経由で本製品を表示するには、必ず、SSH およびリモートバックアップサービスの両方にポート転送ルールを追加してください。（「ネットワークサービス」（71 ページ）を参照してください。）

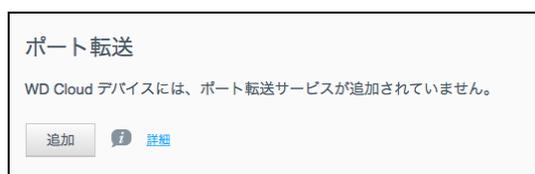
リモートサーバーを有効にするには：

- トグルボタンをクリックして、オンにします。
- 設定をクリックします。リモートサーバー画面が表示されます。
- パスワードフィールドに、このデバイスでリモートサーバーへのリモートバックアップにアクセスする際に使用するパスワードを入力します。
- 保存をクリックします。

## ポート転送

ネットワーク画面のポート転送セクションでは、デフォルトのポート番号またはカスタムポート番号を割り当てて、特定サービスへの接続を管理できます。

ポート転送の詳細については、WD ナレッジベースの回答 ID 10649 を参照してください。



### ポート転送サービスの追加

1. ポート転送サービスを本製品に追加するには、**追加**をクリックします。
2. ポート転送の設定画面で、**デフォルトのサービススキャンを選択する**または**ポート転送サービスをカスタマイズする**のいずれかをクリックし、**次へ**をクリックします。
  - デフォルトのサービススキャンを選択するを選択した場合、ポート転送で使用するデフォルトのサービススキャンを選択し、**保存**をクリックします。
  - ポート転送サービスをカスタマイズするを選択した場合、次のフィールドに記入します。
    - **サービス**：ポート転送用のサービスを入力します。
    - **プロトコル**：ドロップダウンメニューからプロトコルを選択します。
    - **外部ポート**：ポート転送用の外部ポート番号を入力します。
    - **内部ポート**：ポート転送用の内部ポート番号を入力します。
    - **完了**をクリックします。

### ポート転送サービスの修正

1. 修正するポート転送サービスの隣にある**詳細**をクリックします。
2. 必要な変更をすべて行ったら、**完了**をクリックします。

### ポート転送サービスの削除

1. 削除するポート転送サービスの隣にある**詳細**をクリックします。
2. **削除**をクリックします。ポート転送サービスは削除され、ポート転送リストから除外されます。

## メディア

メディア画面では、DLNA（デジタルリビングネットワークアライアンス）メディアサーバーと iTunes メディアプレーヤーの設定を入力することができ、ご自宅のすべての部屋でメディアを楽しむことができます。



1. ナビゲーションバーで**設定**アイコンをクリックし、左側のパネルで**メディア**をクリックします。

**注**：DLNA と iTunes は、ローカルネットワーク上でのみ機能します。

このページでメディア設定を入力し、メディアを表示またはストリーミングする手順については、56 ページの「ビデオ、写真、音楽の再生 / ストリーミング」を参照してください。

## ユーティリティ

ユーティリティページでは、本製品のテスト、診断情報の取得、デバイスの初期状態への復元、デバイスの再起動やシャットダウン、設定ファイルのインポートを行うことができます。

ユーティリティ画面にアクセスするには、**設定アイコン**をクリックし、左側のパネルで**ユーティリティ**をクリックします。

全般

ネットワーク

メディア

**ユーティリティ**

通知

ファームウェア更新

### システム診断

ディスク テスト   ⓘ

システム テスト  ⓘ

システム ログ

拡張ロギング   ⓘ

---

### 初期設定を復元

初期設定を復元   ⓘ

---

### システム設定

システム設定   ⓘ

---

### デバイス メンテナンス

デバイス電源   ⓘ

デバイス アップタイム 0日 0時間 45分

---

### ディスクのスキャン

ボリューム  ⓘ

---

### ディスクのフォーマット

ボリューム  ⓘ

## システム診断

本製品に問題が生じた場合は、システム診断テストを実行してください。システムログを表示し、診断のために拡張ロギングを有効にすることもできます。

### 診断テスト

診断テストには次の3つのタイプがあります。

- **簡易テスト**：簡易テストでは、ハードドライブのパフォーマンスに重要な問題がないかをチェックします。簡易テストの結果は、ハードドライブの状態について合格、不合格のいずれかで判定します。簡易テストは完了するまでに数分かかります。
- **完全テスト**：完全テストでは、より包括的なドライブ診断を行います。ハードドライブの各セクターを系統的にテストします。テストを実行すると、ハードドライブの状態についての情報が表示されます。ハードドライブのサイズとデータ設定によっては、完全テストは何時間もかかる場合があります。
- **システムテスト**：システムテストでは、デバイスハードウェア（ハードディスクドライブ、ファン、システム時計、デバイス温度）の健全性を確認します。



### 診断テストの実行

1. ユーティリティページで、**簡易テスト**、**完全テスト**、または**システムテスト**をクリックします。テストの進行状況とデバイスがテストに合格または不合格したことを示す、進捗バーが表示されます。
2. テスト結果を確認し、**閉じる**をクリックします。
  - デバイスがテストに不合格の場合、ページ上部のヘルプアイコンをクリックし、**サポート**をクリックしてサポートを受けてください。

### システムログの表示

システムログには、デバイスで発生したイベントが一覧表示されます。次の手順に従い、システムログを表示します。

1. 診断領域で、**ログの表示**をクリックします。
2. ログの表示ダイアログで、デバイスログエントリーを確認します。ログをカスタマイズする方法：
  - プルダウンメニューからログレベルを選択します。
  - プルダウンメニューからフィルター条件オプションを選択します。
  - ログをクリアするには、**クリア**をクリックします。
3. ログの確認後、**閉じる**をクリックします。

## 拡張ロギング

診断で拡張されたログを取得するには：ロギング機能を拡張する前に、バックアップ、ファイル操作、ファイル転送が実行中でないことを確認します。

- 拡張ロギングをオンにするには、トグルボタンをクリックして、**OK** をクリックします。

## 初期設定を復元

初期設定を復元領域で、管理者は WD Cloud デバイスの復元を実行できます。



以下のいずれかのオプションを実行して、システムを復元できます。

- **システムのみ**：システム設定を出荷時のデフォルト値に戻しますが、ユーザーデータと共有は保持します。
- **簡易復元**：すべての設定を出荷時のデフォルト値に戻し、すべてのユーザーデータと共有を削除し、デフォルト共有を保持します。簡易復元はデバイスで新しいファイルテーブルを作成しますが、完全にドライブを上書きまたは消去しません。このため、データ回復プログラムを使用して、ユーザーデータと共有を復元できます。
- **完全復元**：すべての設定をデフォルト値に戻し、すべてのユーザーデータと共有を恒久的に消去し、デフォルト共有を保持します。データ回復プログラムを使用してデータを復元できません。デフォルト共有を除き、すべてのユーザーデータと共有は完全に削除されます。

---

**重要：** 工場出荷時設定の復元またはシステムの更新を行う前に、デバイスの現在の設定を保存しておくことができます。保存しておいた設定を後日インポートすることができます。ただし、工場出荷時設定を復元した後で設定をインポートしても、共有やユーザーは復元されません。構成ファイルの作成または復元については、80 ページの「設定ファイルの保存」を参照してください。

---

**注：** デバイス上のデータをすべて消去するには、81 ページの「ディスクのフォーマット」を参照してください。

## システムの復元

次の手順に従い、システムを使用可能な 3 つのオプションのいずれかに復元します。

1. 初期設定を復元領域で、**システムのみ**、**簡易復元**、または**完全復元**のいずれかをクリックします。
2. **復元**をクリックします
3. 確認のメッセージを確認して、**OK** をクリックします。デバイスが再起動します。再起動処理中にデバイスを切断しないでください。再起動が完了したら、ダッシュボードを起動します。

## システム設定

システム設定領域では、設定ファイルを保存することや、既存の設定ファイルをインポートすることができます。これは、システムの復元を行い、現在の構成を維持する場合に役立ちます。



### 設定ファイルの保存

次の手順に従い、設定ファイルを保存します。

- システム設定領域で、**設定ファイルの保存**をクリックします。設定ファイルがデスクトップに保存されます。

### 設定ファイルのインポート

次の手順に従い、設定ファイルを保存します。

1. システム設定領域で、**ファイルのインポート**をクリックします。
2. 保存された設定ファイルの場所にナビゲートし、それを開きます。設定ファイルが読み込まれます。デバイスが再起動します。再起動処理中にデバイスを切断しないでください。再起動が完了したら、ダッシュボードを起動します。

## デバイスマンテナンス

デバイスマンテナンスでは、本製品のシャットダウンと再起動を行うことができます。この領域には、デバイスが立ち上がってから稼動している時間が表示されます。



### デバイスのシャットダウン

次の手順に従い、WD Cloud デバイスを安全にシャットダウンします。

1. デバイスマンテナンス領域で、**シャットダウン**をクリックします。
2. 確認メッセージを確認したら、**OK**をクリックします。WD Cloud が安全にシャットダウンされます。

### デバイスの再起動

1. デバイスマンテナンス領域で、**再起動**をクリックします。
2. 確認メッセージを確認したら、**OK**をクリックします。WD Cloud が安全に再起動します。

### デバイス アップタイムの表示

デバイス アップタイム領域には、デバイスが立ち上がってから稼動している時間が表示されます。

## ディスクのスキャン

ディスクのスキャン領域では、デバイスのハードディスクドライブでエラーをスキャンできます。



### ディスクをスキャンする

次の手順に従い、本製品でディスクスキャンを実行します。

1. ディスクのスキャン領域で、ドロップダウンメニューからスキャンするボリュームを選択します。
2. **ディスクのスキャン**をクリックします。
3. 確認メッセージを確認して、**OK**をクリックします。本製品のディスクエラーがスキャンされます。

## ディスクのフォーマット

ディスクのフォーマット領域では、デバイスのハードディスクドライブをフォーマットすることができます。



### ディスクをフォーマットする

**警告！** ディスクのフォーマットオプションでは、デフォルトの共有を残したまま、ユーザーデータと共有はすべて完全に消去されます。データ復旧プログラムを使用してもデータは復元できません。ユーザーデータと共有はすべて完全に削除されます。

**ディスクのフォーマットは、完了するまで数時間かかります。**

次の手順に従い、WD Cloud デバイス上のディスクをフォーマットします。

1. **ディスクのフォーマット**をクリックします。
2. 確認メッセージを確認し、チェックボックスを選択したら、**OK**をクリックします。本製品のフォーマットが開始されます。

## 通知

WD Cloud では、ファームウェアの更新、ファームウェアのインストール成功、システムのシャットダウンなど、さまざまなイベントを通知することが可能です。通知のメッセージは画面上部のアラート領域に表示され、デバイスの構成方法によっては、メールで送信することもできます（アラートに関する詳細は、26 ページの「アラートの管理」を参照してください）。

通知ページでは、通知を受信する最大 5 ユーザーのメールアドレス設定、モバイルデバイス用の SMS アラートメッセージ設定、通知されるアラートのレベル設定などの操作を実行できます。



## 通知メール

通知メール領域では、指定したユーザーにメールアラートと SMS 通知を設定できます。



## アラートメールの有効化

1. ナビゲーションバーで設定アイコンをクリックし、左側のパネルで通知をクリックします。
2. アラートメールを有効にするには、トグルボタンをクリックしてオンにします。
3. 設定をクリックします。
4. アラート通知画面で、スライダバーを使用してメールで受信したいアラートレベルを選択します。
  - **緊急のみ**：指定したメールアドレスに緊急アラートのみを送信します。
  - **緊急と警告**：指定したメールアドレスに緊急と警告の両方のアラートを送信します。
  - **すべて**：すべてのアラート（情報、重大、警告）を、指定されたメールアドレスに送信します。
5. 新しいメールをクリックします。
6. アラートメールを受信するメールアドレスを入力し、保存をクリックします。
7. 手順 5～6 を繰り返して、最大 5 つのメールアドレスを入力します。

8. **テストメールの送信**をクリックして、入力したメールアドレスを検証します。
9. **OK**をクリックして、検証メールが届いたかどうか確認します。

## SMS 通知の有効化

**注：** SMS サービスプロバイダーに問い合わせ、SMS メッセージを送信する場合の要件を入手してください。通信事業者によっては、SMS/ テキストメッセージをメールで送信することが求められる場合があります。

1. ナビゲーションバーで**設定アイコン**をクリックし、左側のパネルで**通知**をクリックします。
2. SMS を有効にするには、**トグルボタン**をクリックして**オン**にします。
3. **設定**をクリックします。
4. SMS の設定画面で、SMS プロバイダーの名前を入力します。
5. メッセージコンテンツに「Hello world」を設定した SMS の URL を入力します。

**注：** この SMS URL は、セットアップのみに使用されます。設定の完了後は、SMS メッセージは送信されません。SMS サービス プロバイダから URL フォーマットの条件についての情報を入手します。これには、ユーザー名、パスワード、宛先の電話番号、メッセージコンテンツのパラメーターが含まれているはずで

6. **次へ**をクリックします。
7. ドロップダウンメニューから、SMS パラメーターごとに該当するカテゴリを選択します。
8. **完了**をクリックします。これで、SMS 通知が設定されました。

## 通知表示

通知表示では、送信された通知のタイプを選択できます。



1. 通知表示画面で、表示する通知のレベルをスライダーバーで選択します。
  - **緊急のみ**：緊急アラートのみを送信します。
  - **緊急と警告**：緊急と警告の両方のアラートを送信します。
  - **すべて**：すべてのアラート（情報、緊急、警告）を送信します。選択により、システムは自動的に更新されます。

## ファームウェアの更新

ファームウェア更新ページでは、WD Cloud ファームウェアの自動更新、更新ファイルの手動チェックなどを設定することができます。この画面には、ファームウェアの現在のバージョン番号と最終更新日も表示されます。

### 設定

- 全般
- ネットワーク
- メディア
- ユーティリティ
- 通知
- ファームウェア更新**

#### 自動更新

自動更新を有効にする  オン ⓘ

更新スケジュール 毎日 3:00 AM

---

#### 利用可能な更新

新しいファームウェア  ⓘ

現在のバージョン 1.06.100

前回の更新 2014年12月8日 11:54:33

---

#### 手動更新

ファームウェア イメージ  ⓘ

## 自動更新

自動更新では、本製品に適用可能なソフトウェア更新のチェックをスケジュール化し、自動的にインストールすることが可能です。これは、WD Cloud ファームウェアを常に最新のものにしておく最も簡単な方法です。

**注：** ファームウェアのアップデートがインストールされた後、本製品が再起動する場合があります。再起動はユーザーのクラウド アクセスに影響するため、クラウドへのユーザー アクセスが最も少なくなるときに更新が行われるようにスケジュールしてください。

**注：** 自動更新を有効にすると、更新の完了時に、システムを手動で起動することが求められます。

### 自動更新

自動更新を有効にする  オン ⓘ

更新スケジュール 毎日 3:00 AM

## ファームウェアの自動更新

1. 自動更新を有効にするには、トグルボタンをクリックして**オン**にします。
2. 更新スケジュールフィールドで、デバイスがWDのWebサイトで更新を検索する頻度（毎日など）と時刻をドロップダウンメニューから指定します。
3. **保存**をクリックします。保存したら、デバイスは指定した時刻と日付でファームウェアの更新をチェックします。更新が入手できる場合、自動的にインストールされ、再起動を求めるダイアログが表示されます。

## 利用可能な更新

利用可能な更新領域では、入手できる更新をいつでもチェックできます。この領域には、ファームウェアの現在のバージョン、ファームウェアを最後に更新した日付と時刻が表示されます。



## 更新の確認

1. 新しいファームウェアフィールドで、**更新の確認**をクリックします。
2. ファームウェア更新画面を確認したら、**OK**をクリックします。
  - アップデートを入手できる場合、**インストールと再起動**をクリックします。

## 手動更新

手動更新を実行するには、この手順に従ってください。

注： デバイスにインストールする必要があるファームウェアは、WDテクニカルサポートのダウンロードページ (<http://support.wd.com/product/download.asp>) からすでにダウンロードしていることを確認してください。



## アップデートの手動インストール

1. 手動更新セクションで、**ファイルから更新**をクリックします。
2. ファームウェアの更新ファイルに移動し、**開く**をクリックします。
3. 確認メッセージを確認して、**OK**をクリックします。アップデートがデバイスにインストールされます。更新が完了したら、本製品が再起動します。

## 規制情報

### 規制遵守

## 規制遵守

### 米国連邦通信委員会（FCC）クラス B 情報

このデバイスの動作は次の 2 つの条件に従います。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こさない。
2. このデバイスは受信したすべての干渉（意図しない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む）を受け入れなければならない。

コンプライアンスに対する責任ある関係者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

### FCC 要件、パート 15

この機器はテストの結果、FCC 規定の第 15 部に従ったクラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限事項は、住宅地域での設置において有害な干渉に対し妥当な予防策を提供するように規定されています。この機器はラジオ周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があります。メーカーの説明書に従って設置および使用されない場合、ラジオの受信に有害な干渉を及ぼすことがあります。しかしながら、特定の設置条件で干渉が起きないという保証はありません。機器を断続的にオン / オフすることによって、ラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を及ぼした場合は、次の複数の手段によって干渉を修正することが推奨されます。

- 受信アンテナの方向を変える、または配置を換える。
- 機器と受信機の距離を大きくする。
- 受信機が接続されているコンセントとは異なる回線のコンセントへ機器を接続する。
- ご質問がある場合は、小売店または詳しい知識のあるラジオ / テレビ技術者にご相談ください。

WD が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる場合があります。

### ICES/NMB-003 遵守

Cet appareil DE la classe B est conforme à la norm NMB-003 de Canada.

このデバイスは Canadian ICES-003 クラス B に準拠しています。

### 安全準拠

米国およびカナダで承認済み。CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1, UL 60950-1: Safety of Information Technology Equipment.

Approuver pour els Etas-Units et el Canada. CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1: Secret equipment DE technologie de l'information.

この製品には、リストに載っている制限された電源、二重被覆、または「クラス 2」とマークされている直接プラグ差し込み型電源ユニットを使用してください。

### ヨーロッパ CE 遵守

EN55022 (RF 放射)、EN-55024 (一般電磁波耐性、該当する場合)、および EN-60950 (安全) に準拠していることを検証済み。

### GS マーク (ドイツのみ)

機械の騒音 - 規制 3。GPSGV : 別段の宣言のない限り、本製品からの音圧の最大レベルは、EN ISO 7779 により、70db (A) 以下です。Maschinenlärminformations-Verordnung 3.GPSGV : Der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 db(A) oder weniger gemäß EN ISO 7779, falls nicht anders gekennzeichnet oder spezifiziert.

## KC 通知 (韓国のみ)

기종별	사용자 안내문
B 급기기 (가정용방송통신기자재)	이기는가정용(B 급) 전자파적합기기로서주로 가정에서 사용하는것을목적으로하며, 모든지역에 서사용할수있습니다

Class B 機器 本機器は非商用目的で承認されており、住居地域を含むいかなる環境でも使用できます。

韓国 KCC 認証 ID:MSIP-REM-WDT-D8C

## VCCI 告知

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

## 環境基準の遵守 (中国)

部件编号	鉛 (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯(PBB)	多溴联苯醚(PBDE)
PCBA	X	○	○	○	○	○
适配器主体	X	○	○	○	○	○
电缆	○	○	○	○	○	○
螺丝	○	○	○	○	○	○
脚垫	○	○	○	○	○	○
金属	○	○	○	○	○	○
塑料	○	○	○	○	○	○
木箱	○	○	○	○	○	○
标签	○	○	○	○	○	○

○：表示元件构成同种材料不含有杂质或所含杂质符合 SJ/T 11363-2006 规范所规定的最大允许掺杂范围。

X：表示元件所含物质超出 SJ/T 11363-2006 规范

## 14

## 付録

- 付録 A : WD Cloud クイックユーザーガイド
- 付録 B : セーフモードでのファームウェア更新の手順
- 付録 C : WD Cloud 操作アイコン
- 付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前
- 付録 E : ユーザーインポートファイルの作成

## 付録 A : WD Cloud クイックユーザーガイド

本ガイドは、WD Cloud の管理者ではなく、主にユーザーを対象としています。

### WD Cloud へのログイン

1. ブラウザーのアドレスフィールドに、WD Cloud デバイスの名前（デフォルト名 : wdcloud）を入力します。
  - **http://< デバイス名 >** (Windows) (例 : http://wdcloud)
  - **http://< デバイス名 >.local** (Mac) (例 : http://wdcloud.local)
2. **[進む]** をクリックします。
3. WD Cloud ログインページで、ユーザー名とパスワードを入力します（デフォルトはパスワードなし）。

4. **[ログイン]** をクリックします。WD Cloud ダッシュボードのホームページが表示されます。

## ダッシュボードホームページ

WD Cloud のダッシュボードには、右上に情報アイコン、ページ上側にナビゲーションアイコンが配置されています。また、デバイスの主な機能のステータスとアップデート設定のリンクも表示されます。



### 情報アイコン

ページ上部の情報アイコンで、次の項目にすばやくアクセスできます。

- WD Cloud に接続された USB デバイス
- デバイスアラート
- オンラインヘルプとサポート
- ユーザー情報

アイコン	名前	動作
	WD Cloud に接続された USB デバイス	クリックすると、本製品に接続された USB デバイスが表示されます。接続された USB
	アラート通知	クリックすると、新しいファームウェアとネットワークの問題に関する最近のアラートが表示されます。
	ヘルプ	クリックすると、WD Cloud 使用開始ウィザード、オンラインヘルプ、サポート、詳細情報にアクセスできます。
	ユーザー [ユーザー]	クリックすると、現在 WD Cloud デバイスにログインしているユーザーの名前が表示されます。WD Cloud デバイスをシャットダウン、再起動、またはログアウトすることもできます。

## ナビゲーションアイコン

ナビゲーションアイコンでは、本製品のさまざまな機能と設定にアクセスできます。

アイコン	名前	動作
	ホーム	デバイスの主な機能の状態に関する簡単な概要と、これらの設定を変更するためのリンクが表示されます。
	ユーザー <:so> ユーザア	ユーザーアカウントの作成、変更、削除を行います。特定の共有に対して無制限または制限付きアクセス権限をユーザーに付与します。
	共有	共有を作成、変更、削除します。特定のユーザーアカウントに、共有に対する無制限または制限付きアクセス権限を付与します。また、アクセス権限を付与しないこともできます。
	クラウドアクセス	特定の共有に対するリモートクラウドアクセスを設定、変更、削除します。リモートアクセスの状況をモニタリングします。
	バックアップ	以下のデバイスを保存先としてバックアップを行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• USB ドライブ</li> <li>• ネットワーク上、またはネットワーク外に存在する別の WD Cloud デバイス</li> <li>• 同一の WD Cloud 上の別の場所</li> <li>• カメラが接続された WD Cloud。カメラが接続された WD Cloud</li> </ul>
	アプリ	さまざまなアプリを追加または削除して、デバイスをさらに効果的に使用できるようにします。
	設定	WD Cloud に対して、次のような高度な設定を行います。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般的なデバイス設定</li> <li>• ネットワーク構成</li> <li>• メディアオプション</li> <li>• デバイスユーティリティタスク</li> <li>• 通知設定</li> <li>• ファームウェア更新設定</li> </ul>

## ホームページの表示

ホームページでは、デバイスのステータスとその機能を表示し、必要性が最も高い作業のショートカットを提示します。

## 容量

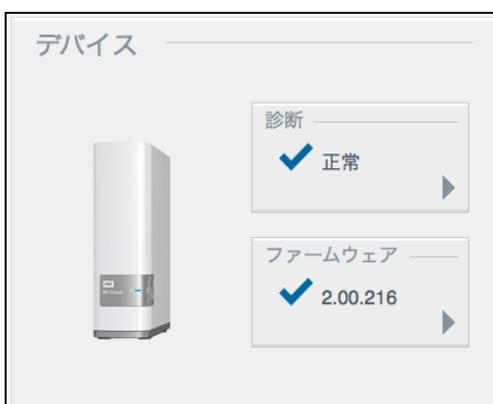
容量パネルには、WD Cloud の空き容量とストレージの割り当て状況が教示されます。

**注：** ストレージ割り当て情報は、クラウドサービスオプションがオンの場合のみ表示されます。クラウドサービスを有効にする手順は、66 ページの「クラウドアクセス」を参照してください。



## デバイス

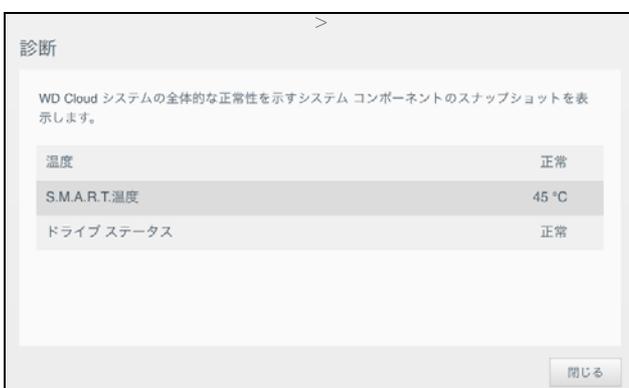
[デバイス] セクションでは、システム全般の健全性を確認し、現在のファームウェアのバージョンを表示し、最新ファームウェアが存在する場合はその情報を通知します。



## 診断情報

[診断] セクションでは、システムコンポーネントのスナップショットを表示し、WD Cloud デバイス全般の稼働状態を示します。

1. システムコンポーネントのステータスの詳細を確認するには、[診断] フィールドの矢印をクリックします。
2. ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。



## ファームウェア

[ファームウェア] セクションでは、WD Cloud に搭載されているファームウェアのバージョンを表示します。緑のチェックマークは、ファームウェアが最新であることを示しています。

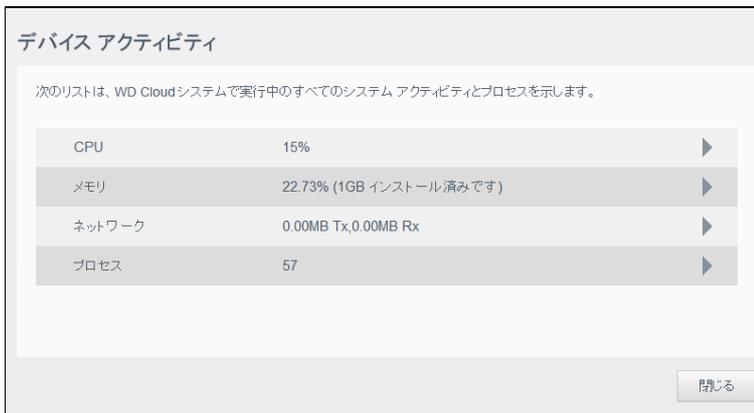
1. ファームウェアの最新バージョンが入手できるかどうかを確認するには、ファームウェアの右側にある矢印をクリックして、ファームウェアが利用可能かどうかを表示します。
2. アップデートが入手できる場合、[インストールと再起動] をクリックして、デバイスを更新します。
3. ホームページに戻るには、[OK] または [キャンセル] をクリックします。

## ネットワークアクティビティ

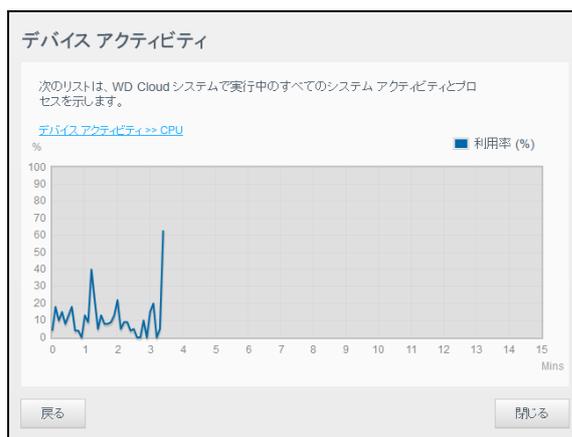
[ネットワークアクティビティ] パネルでは、WD Cloud 上で実行中のシステムのアクティビティとプロセスを表示します。ネットワーク、CPU、RAM のアクティビティの概要を確認できます。



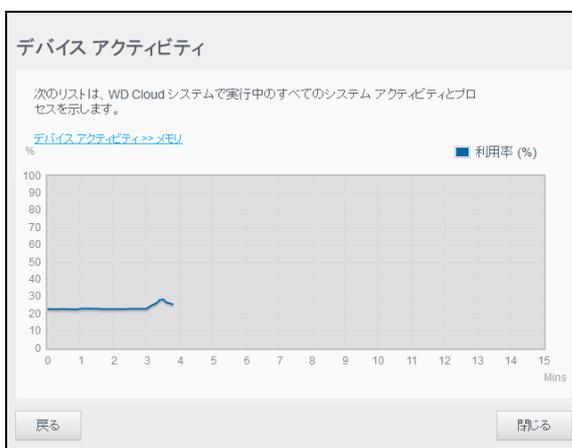
WD Cloud 上で実行中のデバイスのアクティビティとプロセスのリストをすべて表示するには、[ネットワークアクティビティ] 領域の矢印をクリックします。



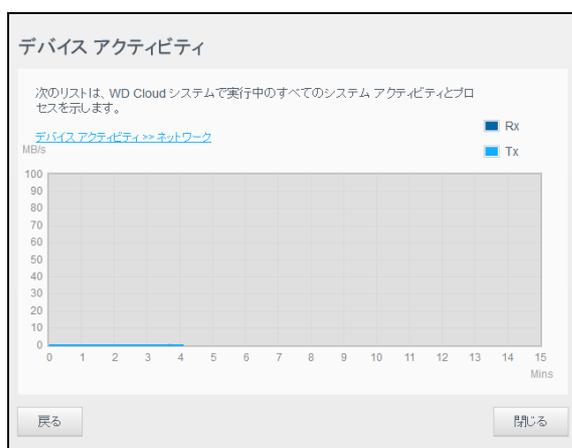
- **CPU:** 右矢印をクリックすると、CPU アクティビティが表示されます。[デバイスアクティビティ] ペインに戻るには、[戻る] をクリックします。ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。



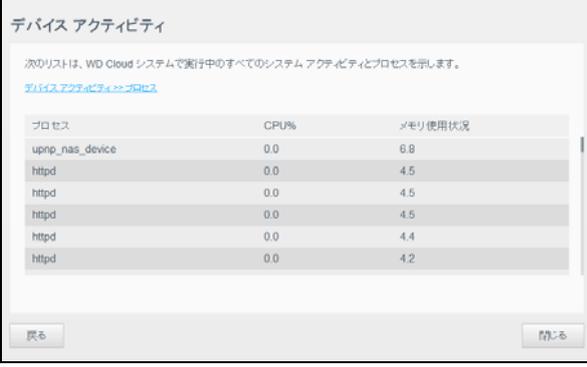
- **メモリ:** 右矢印をクリックすると、メモリアクティビティが表示されます。[デバイスアクティビティ] ペインに戻るには、[戻る] をクリックします。ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。



- **ネットワーク:** 右矢印をクリックすると、ネットワークアクティビティが表示されます。[デバイスアクティビティ] ペインに戻るには、[戻る] をクリックします。ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。



- **プロセス**：右矢印をクリックすると、アクティブなプロセス、CPU 容量、各プロセスに対するメモリ使用量などのプロセス情報を表示します。[デバイスアクティビティ] ペインに戻るには、[戻る] をクリックします。ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。



デバイス アクティビティ

次のリストは、WD Cloud システムで実行中のすべてのシステム アクティビティとプロセスを示します。

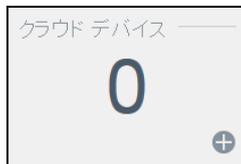
[デバイスアクティビティとプロセス](#)

プロセス	CPU%	メモリ使用状況
upnp_nas_device	0.0	6.8
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.5
httpd	0.0	4.4
httpd	0.0	4.2

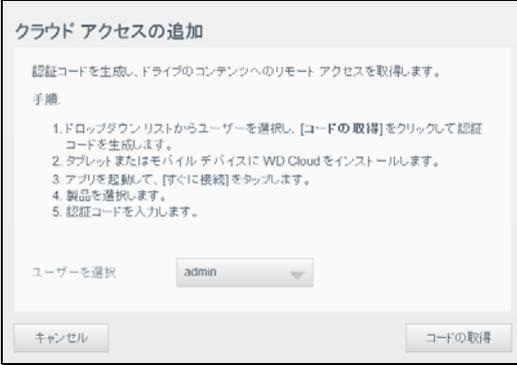
戻る 閉じる

## クラウドデバイス

[クラウドデバイス] パネルでは、現在 WD Cloud にリモートでアクセスしているクラウドデバイスとスマートデバイスの数を表示します。



1. ユーザーにクラウドアクセスを追加するには、パネルの右下にあるプラス記号 (+) をクリックします。



クラウド アクセスの追加

認証コードを生成し、ドライブのコンテンツへのリモート アクセスを取得します。

手順

1. ドロップダウンリストからユーザーを選択し、[コードの取得] をクリックして認証コードを生成します。
2. タブレットまたはモバイル デバイスに WD Cloud をインストールします。
3. アプリを起動して、[すぐに接続] をタップします。
4. 製品を選択します。
5. 認証コードを入力します。

ユーザーを選択

キャンセル コードの取得

2. ユーザーを選択し、[コードの取得] をクリックして認証コードを生成します。
3. ページに表示された手順に従い、タブレットやモバイルデバイスを WD Cloud に登録します。

## ユーザー

[ユーザー] パネルでは、現在 WD Cloud を使用しているユーザー数を表示します。



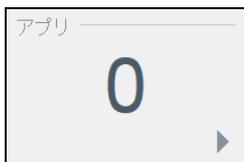
1. ユーザーを追加するには、パネルの右下にあるプラス (+) 記号をクリックします。

**注：** [ユーザーの追加] 画面でメールアドレスを入力すると、新しいクラウドアクセスアカウントが作成されます。作成が完了すると、クラウドアクセスのパスワードを設定してアクティブにする手順を記載したメールが、新しいユーザーに届きます。

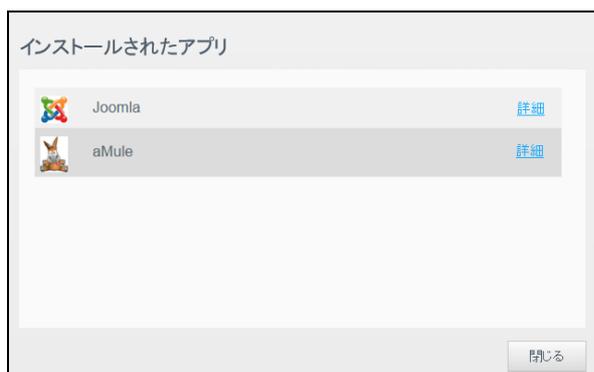
2. 必要な情報を入力し、[保存] をクリックします。

## アプリ

[アプリ] パネルでは、現在 WD Cloud にインストールされているアプリを表示します。



1. インストールされているアプリを表示するには、パネルの右下にある矢印をクリックします。



**注：** アプリをインストールするには、54 ページの「WD Cloud でのアプリの管理」を参照してください。

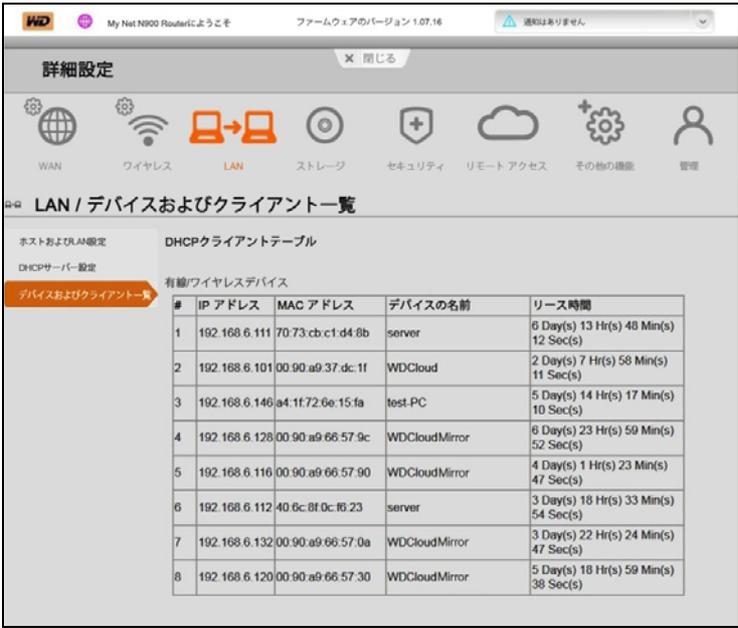
2. アプリの詳細を表示するには、アプリの横にある [詳細] をクリックします。[インストールされたアプリ] 画面に戻るには、[戻る] をクリックします。
3. ホームページに戻るには、[閉じる] をクリックします。

## 付録 B : セーフモードでのファームウェア更新の手順

次の画面が表示される場合、下記の手順に従い、サーバーをセーフモードから復旧させてください。

注： 次の手順を実行する前に、本製品のファームウェアを WD サポートの Web サイト (<http://www.wdcloud.jp/support>) からダウンロードし、コンピュータから参照できる場所に保存してください。ファームウェアファイルは必ず解凍しておいてください。

1. ご使用のルータの DHCP LAN/ デバイスおよびクライアント一覧にログオンし、ご使用のデバイスの IP アドレスを入手します。

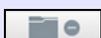


The screenshot shows the 'LAN / デバイスおよびクライアント一覧' (LAN / Devices and Client List) page. It features a navigation bar with icons for WAN, Wireless, LAN, Storage, Security, Remote Access, and other functions. Below the navigation bar, there are sections for 'Host and LAN Settings' and 'DHCP Client Table'. The 'DHCP Client Table' is expanded to show a list of active wireless devices with columns for ID, IP Address, MAC Address, Device Name, and Lease Time.

#	IP アドレス	MAC アドレス	デバイスの名前	リース時間
1	192.168.6.111	70:73:cb:c1:d4:8b	server	6 Day(s) 13 Hr(s) 40 Min(s) 12 Sec(s)
2	192.168.6.101	00:90:a9:37:dc:1f	WDCloud	2 Day(s) 7 Hr(s) 58 Min(s) 11 Sec(s)
3	192.168.6.146	a4:1f:72:0e:15:fa	test.PC	5 Day(s) 14 Hr(s) 17 Min(s) 10 Sec(s)
4	192.168.6.128	00:90:a9:66:57:9c	WDCloudMirror	6 Day(s) 23 Hr(s) 59 Min(s) 52 Sec(s)
5	192.168.6.116	00:90:a9:66:57:90	WDCloudMirror	4 Day(s) 1 Hr(s) 23 Min(s) 47 Sec(s)
6	192.168.6.112	40:6c:8f:0c:16:23	server	3 Day(s) 18 Hr(s) 33 Min(s) 54 Sec(s)
7	192.168.6.132	00:90:a9:66:57:0a	WDCloudMirror	3 Day(s) 22 Hr(s) 24 Min(s) 47 Sec(s)
8	192.168.6.120	00:90:a9:66:57:30	WDCloudMirror	5 Day(s) 18 Hr(s) 59 Min(s) 38 Sec(s)

2. デバイスの IP アドレスをブラウザのウィンドウに入力します。セーフモードの UI が表示されます。
3. ダウンロードしたファームウェアを保存しておいた場所を参照します。
4. [適用] をクリックしてファームウェアをロードします。
5. ダイアログボックスで、[OK] をクリックします。デバイスが再起動します。
6. 再起動が完了したら、必ずブラウザのキャッシュをクリアしてください。キャッシュの最適なクリア方法については、ブラウザのヘルプを参照してください。
7. デバイスの再起動が完了したら、システムを復元することをお勧めします (79 ページの「初期設定を復元」を参照)。

## 付録 C : WD Cloud 操作アイコン

アイコン	ボタン名	動作
	アプリの追加	アプリを WD Cloud に追加するには、このオプションを選択します。
	グループの追加	このオプションを選択し、[グループの追加] ダイアログを開いて、グループをデバイスに追加します。
	共有の追加	このオプションを選択し、[共有の追加] ダイアログを開いて、共有をデバイスに追加します。
	ユーザーの追加	このオプションを選択し、[ユーザーの追加] ダイアログを開いて、ユーザーをデバイスに追加します。
	クラウドアクセス	特定の共有に対するリモートクラウドアクセスを設定、変更、削除します。リモートアクセスの状況をモニタリングします。
	削除	このオプションを選択し、アラートを削除します。
	ジョブの削除	このオプションを選択し、選択したジョブを削除します。
	共有の削除	このオプションを選択し、共有を削除します。 <b>警告！ 共有を削除すると、その共有上のすべてのファイルとフォルダーが消去されます。</b>
	ジョブ詳細	このオプションを選択し、ジョブを表示します。
	ジョブ詳細	このオプションを選択し、バックアップジョブの詳細を表示します。
	ジョブの修正	このオプションを選択し、バックアップジョブを修正します。
	WD Cloud ダッシュボードのデスクトップアイコン	このアイコンをクリックし、WD Cloud ダッシュボードを開きます。

アイコン	ボタン名	動作
	読み取り専用	選択した共有への読み取り専用のアクセス権限を、ユーザーアカウントまたはグループアカウントに付与します。ユーザーまたはグループのメンバーはその共有を表示できますが、更新はできません。
	読み取り / 書き込み	選択した共有への読み取り / 書き込みのアクセス権限を、ユーザーアカウントまたはグループアカウントに付与します。ユーザーまたはグループのメンバーはその共有を表示し、更新できます。
	回復	このオプションを選択し、リモートバックアップを回復します。
	アプリの削除	このオプションを選択し、アプリを WD Cloud から削除します。
	グループの削除	このオプションを選択し、グループをデバイスから削除します。
	ユーザーの削除	このオプションを選択し、ユーザーをデバイスから削除します。
	バックアップ開始	このオプションを選択し、デバイスのバックアップを開始します。
	トグル	機能をオンまたはオフにできます。

## 付録 D : WD Cloud デバイスの URL と名前

### デバイス URL

Web ブラウザーからお使いの製品にアクセスするには、デバイス URL を使用します。

注： デバイス名を変更した場合は常に、URL も新しい名前に変更されます。

デバイス名	Windows の URL	Mac の URL
WD Cloud	http://wdcloud	http://wdcloud.local
変更されたデバイス名	http://< 新しいデバイス名 >	http://< 新しいデバイス名 >.local

### デバイス名

デバイス名は、Mac Finder と Windows エクスプローラーに表示されます。

デバイス名	Window/Mac の名前
WD Cloud	wdcloud

## 付録 E : ユーザーインポートファイルの作成

ユーザーインポートファイルは、複数のユーザーを迅速にデバイスに入力するために作成されます。以下に、ユーザー情報をインポートするためのファイルフォーマットと、各フィールドの使用例を示します。ユーザーインポートファイルを使用して複数のユーザーを作成する手順については、32 ページの「複数ユーザーの追加」を参照してください。

### ユーザーインポートファイルのフォーマット

データをユーザーインポートファイルに入力する際には、次のフォーマットを使用します。

- username/password/group/rw/ro/deny:quota

すべてのフィールドが必須です。フィールドを空欄のままにする場合は、そのフィールドのスラッシュ (/) の間を空白にします。

### フィールドの定義

次の一覧は、ユーザーインポートファイルのフィールド、定義、データの例を示してい

必須フィールド	定義	例
username	ユーザー名：新しいユーザーの名前を入力します。	Joe Jones
パスワード [パスワード]	ユーザーパスワード：新しいユーザーのパスワードを入力します。	パスワード [パスワード]
グループ [グループ]	グループ名：新しいユーザーを追加するグループの名前を入力します。  注： グループは、ユーザーを追加する前に存在している必要があります。新しいグループを作成するには、36 ページの「グループの追加」を参照してください。	Family
rw	読み取り / 書き込み共有：ユーザーに表示と更新を許可する共有を入力します。複数の共有に読み取り / 書き込みのアクセス権限を付与する場合は、共有名を「:」で区切ります。	Public
ro	読み取り専用共有：ユーザーに表示のみを許可する共有を入力します。複数の共有に読み取り専用のアクセス権限を付与する場合は、共有名を「:」で区切ります。	TimeMachineBackup
deny	アクセスなし：ユーザーがアクセスできない共有を入力します。	financial:jill_video
quota	割り当て (TB:GB:MB)：新しいユーザーに割り当てる容量を入力します。無制限の領域を割り当てるには、このフィールドを空欄のままにします。	0:0:0:0

ます。

## ユーザーインポートファイルの例

---

```
Joe/password/test/Public:SmartWare:TimeMachineBackup/Public:SmartWare:TimeMachineBackup/Test/0:0:0:0/  
Anne/yellow!/anne///0:0:0:0/  
Donald///SmartWare///0:0:0:0/  
Zoey/blue!807////0:0:0:0/  
Astra////anne/0:0:0:2/
```

---

# 索引

## D

### DLNA

- 概要 61
- デバイス 61
- 無効化 59
- 有効化 59

## F

FTP アクセス 73

## G

GS マーク 86

## I

ICES/NMB-003 遵守 86  
IPv4 ネットワークモード 72

### iTunes

- 概要 56
- 再読み込み 59
- 対応可能なメディアの種類 58
- でのパーソナルクラウドのアクセス 61
- 無効化 59
- メディアのストリーミング 62
- 有効化 59

iTunes でメディアをストリーミングする 62

iTunes の再読み込み 59

## K

KC 告知 87

## L

### LAN

要件 4

### LED 68

- 説明 6
- 前面パネルの電源 6
- 背面パネルのイーサネット（ネットワーク） 6

## M

### Mac

共有ドライブのエイリアスの作成 15  
Mac OS X の使用 15

## R

RoHS 87

## S

SMS 通知 83  
SMS 通知の有効化 83  
SSH  
パスワード 73

## U

UPS 74  
USB ドライブ  
接続 47  
USB バックアップ  
管理 47  
作成 48

## W

### WD Cloud

URL 99  
共有の削除 41  
共有のコンテンツをローカルでアクセス 41  
クイックユーザーガイド 88  
システムレポート 29  
ダッシュボード（エンドユーザー） 89  
デバイス名 99  
ユーザー設定 31  
ユーザーの管理 31  
ログイン（エンドユーザー） 88  
操作アイコン 97

WD Cloud ホームページ（エンドユーザー） 90

WD Cloud モバイルアプリ  
インストール 45

WD Cloud モバイルアプリの要件 44

WDCloud へのアクセス 43

WD サービスとサポート ii

WD 製品情報の記録 2

WD 製メディアプレーヤー  
概要 61

WD テクニカルサポート  
お問い合わせ iii

Web アクセスタイムアウト 68

Web ブラウザー  
を使用した使用開始 12

Web ブラウザー対応 3

### Windows

パブリックフォルダーをマッピング 16

Windows サービス 74

**あ**

- アイコン
  - ナビゲーション（エンドユーザー） 89
- アクセサリー 3
- アクセス
  - iTunes でのパーソナルクラウド 61
  - WDCloud 43
  - オンラインサポート ii
  - コンテンツ 14
  - 全般設定 64
  - メディアプレーヤーを使用したパーソナルクラウド 60
- アップデートの手動インストール 85
- アプリ
  - WD Cloud モバイル 44
  - 概要 54
  - 管理 54
  - 更新 55
  - 削除 55
  - 追加 55
  - 表示 54
- アプリパネル 26, 95
- アラート
  - アイコン 26
  - 管理 26
  - 却下 27
  - 表示 27
  - メール 82
- アラートの詳細 27
- 安全上のご注意 1
- 安全規制に対する準拠 86

**い**

- 一般的な作業 30
- インストール
  - WD Cloud モバイルアプリ 45
  - モバイルアプリ 45
- インターネット要件 4
- インポート
  - 構成ファイル 80

**え**

- エンドユーザーガイド 88

**お**

- オペレーティングシステムの互換性 3

**か**

- 概要
  - DLNA 56, 61
  - WD 製メディアプレーヤー 61
  - アプリ 54
  - カメラバックアップ 52
  - 共有 39
  - 内部バックアップ 51
  - バックアップ 47
  - メディアサーバー 56
- ユーティリティ
  - 概要 77
- 拡張ロギング 79
- カスタマーサポート
  - 利用 28
- カスタマーサポートの利用 28
- カメラバックアップ
  - 概要 52
  - 作成 52
- 環境基準の遵守（中国） 87
- 管理
  - USB バックアップ 47
  - アプリ 54
  - アラート 26
  - ユーザー 31

**き**

- 規制遵守 86
- 共有
  - 概要 39
  - グループアクセスの割り当て 37
  - コンテンツの表示 14
  - コンテンツをローカルでアクセス 41
  - 削除 41
  - 新規作成 40
  - プライベートへ変換 41
  - 編集 40
  - リストの表示 39
  - ローカルでアクセス 41
- 共有ドライブ
  - Mac エイリアスの作成 15
- 警告
  - USB ドライブのマウント 48
  - 共有の削除 41

**く**

- クォータ
  - グループへの割り当て 37
  - へのユーザーの割り当て 34
  - ユーザー 34
  - ユーザーの割り当て 35
- クォータルール 34

- クラウドアクセス
  - 設定 66
  - デバイスでの有効化 43
- クラウドデバイスアクセス 44
- クラウドデバイスパネル 25, 94
- グループ 34
  - 概要 36
  - 共有アクセスの割り当て 37
  - 共有の割り当て 37
  - クォータ
    - グループへの割り当て 37
  - クォータの割り当て 37
  - クォータルール 34
  - 削除 38
    - グループの削除 38
  - 設定の編集 36
  - 追加 36
  - 表示 36
    - へのクォータの割り当て 37
    - ユーザーの割り当て 34
- グループの削除 38
- け
- 言語と時刻の設定 65
- こ
- 更新
  - アプリ 55
  - 手動 85
  - ファームウェアの自動更新 84
  - ホームページでの作成 21
  - ユーザーパスワード 34
- 更新の確認 85
- 構成ファイル
  - インポート 80
  - 保存 80
- さ
- サービス設定 69
- 最大 SMB プロトコル 75
- 削除
  - アプリ 55
  - 共有 41
  - 内部バックアップ 52
  - ポート転送サービス 76
- 作成
  - USB バックアップ 48
  - 新しい共有 40
  - カメラバックアップ 52
  - 内部バックアップ 51
  - 複数ユーザー 33
  - ユーザーインポートファイル 100
  - リモートバックアップ 49
- し
- システム
  - 復元 79
  - システム LED の点滅 79
  - システムアクティビティ 23, 92
  - システムアラートの却下 27
  - システム警告
    - アイコン 26
    - 却下 27
  - システム診断
    - 概要 22, 78, 91
  - システム設定 80
    - 概要 80
  - システムの健全性 22, 91
  - システムの復元 79
  - システムレポート 29
    - テクニカルサポートへの送信 29
  - システムログ
    - 表示 78
  - 自動 84
  - 自動更新 84
  - 自動サポート
    - リクエスト 28
- 修正
  - 内部バックアップ 52
  - ポート転送サービス 76
- 手動更新 85
- 手動でのアプリの追加 55
- 準拠
  - 安全 86
  - 規制 86
  - ヨーロッパ 86
- 使用開始
  - Web ブラウザーを使用 12
- 省電力 67
  - LED オプション 68
  - Web アクセスタイムアウトオプション 68
  - ディープスリープオプション 68
- 初期設定を復元 79
- 診断テスト 78
  - 実行 78
- 診断テストの実行 78
- 診断パネル 22, 91
- す
- スキャン
  - ディスク 81
- ストリーミング
  - iTunes でのメディア 62
  - ビデオ、写真、音楽 56

## せ

- セーフモード
  - から復旧 96
- セーフモードでのファームウェア更新の手順 96
- 製品コンポーネント
  - 1 ベイ製品 前面外観 4
  - 1 ベイ製品 背面外観 5
- 接続
  - USB ドライブ 47
  - WD Cloud デバイス 8
- 設置前に 7
- 設定
  - 全般 63
- 全般設定 63
  - Mac. バックアップオプション 68
  - アクセス 64
  - クラウドアクセス 66
  - 言語と時刻の設定 65
  - サービス設定 69
  - 省電力 67
  - ネットワークサービスの設定 71
  - ネットワーク設定 70
  - ネットワークプロファイルの設定 71
  - ローカルマスターブラウザー 75
  - ワークグループ 74

## そ

- 操作アイコン 97
- ソフトウェアバージョン 22, 92

## た

- 対応可能なメディアの種類 57
  - iTunes 58
- ダッシュボード
  - エンドユーザー 89
  - 概要 17
  - 起動 17
  - ナビゲーションアイコン 20
  - ホームページ 19
- 単一ユーザー
  - 追加 32

## ち

- 注意 7
- 中国 RoHS 87

## つ

- 追加
  - アプリ 55
  - グループ 36
  - 単一ユーザー 32
  - フォルダーへのメディアコンテンツ 60
  - 複数ユーザー 32
  - ポート転送サービス 76
- 通知 82
  - メール 82
- 通知表示 83

## て

- ディープスリープ 68
- ディスクのスキャン 81
- 警告
  - ディスクのフォーマットによるデータの消去 81
- テクニカルサポートへのお問い合わせ iii
- テスト
  - 診断 78
- デバイス
  - クラウドアクセスの有効化 43
  - 健全性 22, 91
  - 再起動 29, 80
  - シャットダウン 80
  - ステータス 21
  - ログオフ 29
- デバイス アップタイム
  - 表示 80
- デバイスの再起動 29, 80
- デバイスのシャットダウン 29, 80
- デバイスの準備 8
- デバイスのログオフ 29
- デバイスパネル 22, 91
- 警告
  - デバイスの修正 73
  - デバイス名の変更 63
- デバイスメンテナンス 80
- 電源ボタン
  - によるデバイスのシャットダウン 29

## と

- 重要
  - 同梱のイーサネットケーブルを使用 9
- 同梱物 3
- 警告
  - ドライブ名の変更 63

**な**

## 内部バックアップ

- 概要 51
- 削除 52
- 作成 51
- 修正 52
- 初期化 51
- 表示 52

## 内部バックアップの初期化ナインバック

- アップノショキカ 51
- ナビゲーションアイコン 20
- エンドユーザー 89

**ね**

- ネットワーク UPS 74
- ネットワーク UPS の設定 74
- ネットワークアクティビティパ  
ネル 23, 92
- ネットワークサービス
  - IPv4 ネットワークモード 72
- ネットワークサービスの設定 71
- ネットワーク設定 70
- ネットワークプロファイルの設定 71

**は**

- パスワード
  - 更新 34
- バックアップ 49
  - USB 47
  - 概要 47
  - カメラ 52
  - 内部 51
  - リモート 49
- パッケージ同梱物 3
- パブリック共有
  - Mac OS で開く 15
  - Windows OS で開く 15
- パブリックフォルダー
  - マッピング 16
- パブリックフォルダーをマッピング 16

**ひ**

- 表示
  - アプリ 54
  - アラートの詳細 27
  - 共有リスト 39
  - グループ 36
  - システムログ 78
  - デバイス アップタイム 80
  - デバイス共有コンテンツ 14
  - 内部バックアップ 52
  - バックアップの詳細 52
  - ユーザー 31

**ふ**

- ファームウェア 84
  - 更新 84
- ファームウェアの更新 22, 84, 92
- ファームウェアパネル 22, 92
- 復元 50
- 複数ユーザー 32
  - インポート 33
  - 作成 33
- 複数ユーザーのインポート 33
- プライベート共有
  - 作成 41

**へ**

- 編集
  - 共有 40
  - グループ設定 36
  - ユーザー設定 33

**ほ**

- ポート転送 75
  - 削除 76
  - 修正 76
  - 追加 76
- ポート転送サービス
  - 追加 76
- 保存
  - 構成ファイル 80

**む**

- 無効化
  - DLNA 59
  - iTunes 59

**め**

- メール
  - アラート 82
  - 通知 82
- メディア
  - 追加 60
- メディアサーバー
  - 概要 56
- メディアストレージ
  - 概要 58
- メディア設定
  - 概要 76
- メディアプレーヤー
  - WD 61
  - その他 61
- パーソナルクラウドへのアクセス 60
- メディアの種類 57
- を使用したパーソナルクラウドのアクセス 60

## も

モバイルアプリ  
インストール 45

## ゆ

## ユーザー

概要 31  
クォータ 34  
クォータの割り当て 35  
クラウドアクセスの有効化 43  
グループクォータルール 34  
グループの割り当て 34  
削除 35  
設定 31  
設定の編集 33  
単一ユーザーの追加 32  
パスワードの更新 34  
表示 31  
複数のインポート 33  
複数の作成 33  
複数の追加 32  
へのクォータの割り当て 34  
リストの表示 31  
ユーザーインポートファイル  
作成 100  
フォーマット 100  
ユーザー設定  
編集 33  
ユーザーの削除 35  
ユーザーパスワード  
更新 34  
ユーザーパネル 25, 94  
有効化  
DLNA 59  
iTunes 59  
ユーザーでのクラウドアクセス 43

## よ

## 要件

WD Cloud モバイルアプリ 44  
容量パネル 21, 91

## り

リモート 49  
リモートサーバー 75  
リモートバックアップ 49, 50  
作成 49  
リモートバックアップの復元 50  
利用可能な更新  
ファームウェア 85

## ろ

ローカルマスターブラウザー 75

## わ

ワークグループ 74  
割り当て  
グループへの共有アクセス 37  
グループへのクォータ 37  
ユーザーへのクォータ 34  
ユーザーへのグループ 34

---

WDによって提供された情報は正確で信頼できるものと考えておりますが、その使用、あるいはその使用に起因した特許または第三者のその他の権利の侵害に関してWDは一切責任を負いません。WDの特許または特許権のもとで、黙示的またはその他の方法でライセンスが許可されることはありません。WDは仕様を予告なく変更する権利を有します。

Western Digital、WD、WDのロゴ、My Book、WD Cloud、My Passport、WD Red、およびWD TVは、米国およびその他の国におけるWestern Digital Technologies, Inc.の登録商標です。WD Cloud、WD Quick View、WD SmartWare、WD TV Liveは、米国およびその他の国におけるWestern Digital Technologies, Inc.の商標です。本書に記載されている他のマークはその他の企業に属する場合があります。

© 2015 Western Digital Technologies, Inc. All rights reserved.

Western Digital  
3355 Michelson Drive, Suite 100  
Irvine, California 92612 U.S.A.

4779-705143-R00 2015年5月